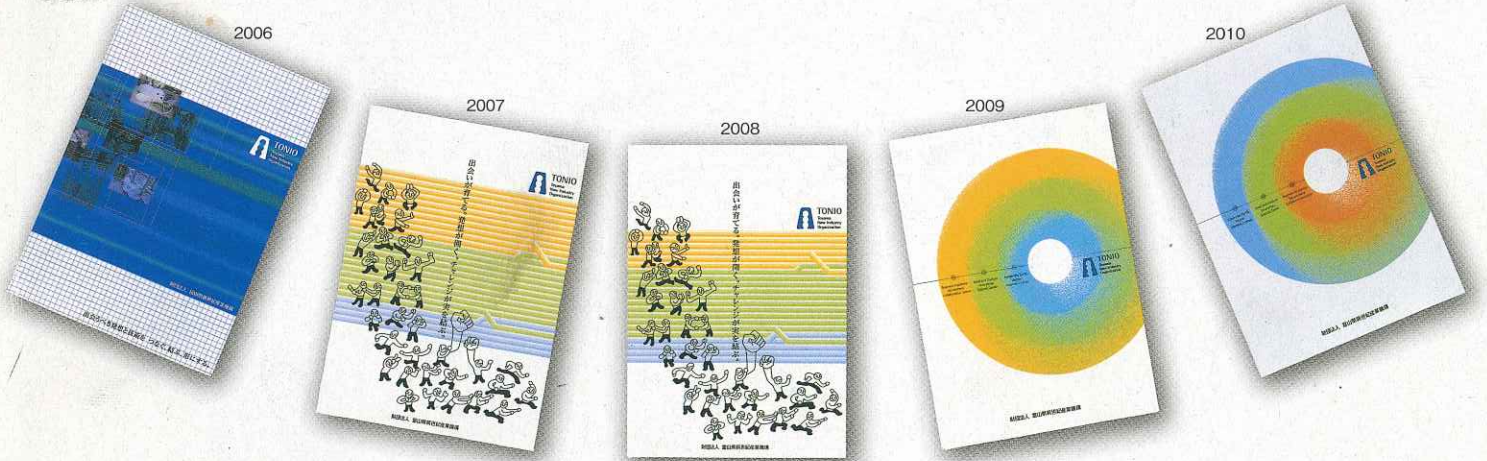
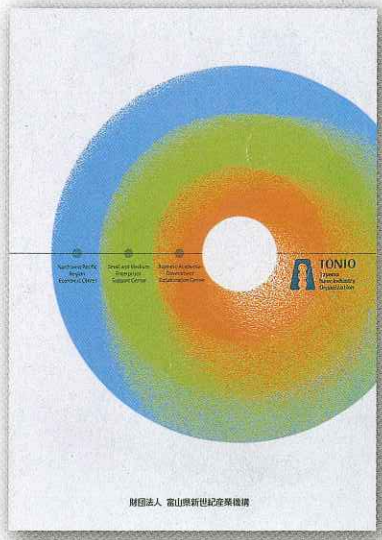




10年の歩み



元氣とやまの創造をめざして

財団法人富山県新世紀産業機構（TONIO）は、21世紀始まりの年、2001年（平成13年）4月1日に3つの県内産業支援機関を統合して誕生しました。

それは、1990年代初頭のバブルの崩壊から長く続く景気低迷の時代 — 失われた10年とも言われた頃でした。

そして誕生から10年の歩みの間、景気低迷はデフレ社会とともに継続し、世界同時不況の引き金となった2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災、歴史的な円高、電力供給不安、などの波が押し寄せ、経済のグローバル化の進展とともに厳しい経済環境が続いています。

この間、TONIOは、県内企業数の99%、働く人の70%を占める中小企業が産業経済を支える基盤であることを踏まえ

- (1) 窓口相談から農商工連携や地域資源活用等の助成まで幅広い中小企業支援策の展開
- (2) たゆみないイノベーションの創出のための、国の提案公募型競争的資金の獲得や産学官連携による研究開発、技術の高度化への支援策の展開
- (3) 中国など成長著しい環日本海諸国やアジア地域をはじめ、国境を越えた経済交流の活性化支援策の展開

に努めてきました。

「温故知新」を旨として、この10年のあゆみを取りまとめ、関係機関との緊密な連携のもと、「元氣とやまの創造」をめざして更にステップアップし、活力ある地域経済の形成と富山県産業の躍進のために事業を展開してまいります。





くす玉を割り、機構の発足を祝う南日（左）、豊國の両理事
—富山市の県技術交流センター

平成13年4月
富山県新世紀産業機構発足



平成14~19年度実施
知的クラスター創成事業第Ⅰ期から生まれた
「細胞自動回収装置・セルポータ(左)」と
「簡易型細胞回収装置(右)」



平成17年7月
とやま起業未来塾開校



平成22年8月
富山県ものづくり総合見本市
NEAR2010開催



平成23年3月
ものづくり研究開発センター開所式



CONTENTS

I	財団設立の経緯	1
	1 設立の背景と経緯	1
	2 沿革	1
	3 シンボルマーク・ロゴタイプ	1
II	10年の歩み	2
III	数字で見る主要事業の実績	12
	1 富山県新世紀産業機構 事業費の推移	12
	2 基金年度末残高の推移	12
	3 産学官連携推進センターの動き	13
	4 中小企業支援センターの動き	17
	5 環日本海経済交流センターの動き	26
IV	富山県ものづくり研究開発センター開所記念講演録	28
V	歴代役員	30
VI	参考資料	32
	1 事務局組織	32
	2 中小企業支援事例集 掲載企業一覧	33
	3 各年度事業報告書から見る主な行事等の実績	33
	4 主要事業掲載以外の事業実績	39

富山県新世紀産業機構 所有施設



富山技術交流センター(技術交流ビル)

所在地	富山市高田529
建築年月日	昭和60年3月26日
増築年月日	平成 3年 3月30日
構造	鉄筋コンクリート造3階建(延床面積 1,212㎡)
1階	産学官連携推進センター(連携促進課)
2階	産学官連携推進センター(プロジェクト推進課)
3階	会議室、関係団体等



ものづくり研究開発センター(開発支援棟)

所在地	高岡市二上町122
建築年月日	平成22年10月 6日
構造	鉄骨造2階建(延床面積 1,255㎡)
1階	プロジェクトスペース 120㎡(2室)、80㎡(2室)
2階	企業レンタルスペース40㎡(10室)、研修室64㎡(1室)

富山県新世紀産業機構 入居施設 (株式会社富山県総合情報センター所有)



情報ビル

所在地	富山市高田527
1階	中小企業支援センター(情報サービス課、支援マネージャーグループ)
2階	中小企業支援センター(取引設備支援課、中小企業再生支援協議会)、環日本海経済交流センター、事務局(企画管理課)

I 財団設立の経緯

1 設立の背景と経緯

- (1) 平成13年 4月 1日、新たな時代に対応した先端的な研究開発プロジェクトを推進するとともに、企業が技術、経営、情報について一元的に相談できる体制を整備するなど、事業運営の効率化を図り、総合的な産業支援機関とするため、次の3つの財団法人を統合し、技術開発部、経営支援部の2部制で発足した。
- ・(財)富山技術開発財団
 - ・(財)富山県中小企業振興財団
 - ・(財)富山県産業情報センター
- (2) 平成16年10月 1日、次のことを背景に産学官連携推進センター、中小企業支援センター、環日本海経済交流センターの三センター制に改組した。
- ・新技術、新産業の創出を産学官の連携によって実現するという方式が揺るぎのないものになっており、国・県が施策の充実を図っていること。
 - ・景気回復に伴い中小企業の経営環境が改善されたかに見えるが、生き残りをかけた不断の経営革新への努力が不可欠な状況に少しも変わりがないこと。
 - ・本県企業にとっても環日本海諸国との取引は、既に経営戦略上重要な要因となっているが、特に中国に関しては今後更に重要度が増すこと。

2 沿革

(1) 統合前の各財団の沿革

① 財団法人富山技術開発財団

- 昭和51年 7月 1日 (財)富山県技術振興協会を県庁内に設立
昭和58年12月27日 (財)富山技術開発財団に改組
昭和60年 4月 15日 事務所を富山技術交流センターに移転

② 財団法人富山県中小企業振興財団

- 昭和43年10月 1日 (財)名古屋下請企業振興協会富山支部を舟橋北町分庁舎内に設立
昭和45年 4月 1日 (財)富山県中小企業機械貸与協会設立
昭和47年 1月 25日 事務所を富山県商工会館内に移転
昭和50年 4月 1日 両協会を合併し(財)富山県中小企業振興協会設立
平成 8年 4月 1日 (財)富山県中小企業振興財団に改組
平成12年 5月 11日 富山県中小企業支援センターを情報ビル内に設置

③ 財団法人富山県産業情報センター

- 昭和54年 4月 13日 (財)富山県産業情報センターを富山商工会議所ビル内に設立
平成 4年 5月 7日 事務所を情報ビル内に移転

(2) 財団法人富山県新世紀産業機構の沿革

- 平成13年 4月 1日 上記三つの財団法人を統合し(財)富山県新世紀産業機構を2部制で設立
平成15年 4月 8日 富山県中小企業再生支援協議会を設置
平成16年10月 1日 3センター制に改組
平成23年 4月 1日 ものづくり研究開発センターを高岡市二上町に設置

3 シンボルマーク・ロゴタイプ



平成16年10月 1日 組織改正に併せ、アジア(A)の中で三センター(三つの○)が連携して鍵となり本県産業の未来を拓くことをイメージしたシンボルマーク及びロゴタイプを決定した。

II 10年の歩み

平成13年度
(2001)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

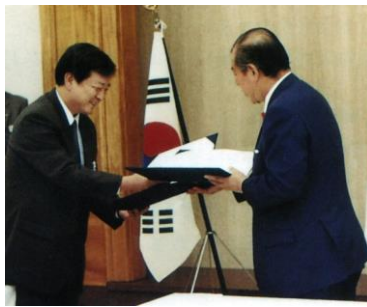
- ・新産業創造支援事業(平成16年度で終了)
- ・支援機関担当者能力開発事業(平成14年度で終了)
- ・大邱テクノパーク交流事業(平成17年度で終了)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・知的クラスター創成事業(知的クラスター構想調査事業)

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- ・地域研究開発促進拠点支援事業(RSP)
- ・技術開発の予備的研究助成事業
- ・産業支援人材導入事業
- ・インターシップ事業
- ・ワンストップサービス推進事業
- ・活性化支援事業
- ・中小商業活性化事業
- ・起業化研究事業
- ・起業化助成事業
- ・技術データベース事業
- ・技術シーズ交流事業
- ・新分野進出事業



韓国大邱テクノパークとの交流協定締結式



TONIOの出来事

- ・平成13年6月 産業支援機関連携促進会議を充足させ、富山県民会館で初会合を開催
- ・平成13年11月 韓国大邱テクノパークと産業交流を進めるための交流協定を締結
- ・平成13年12月 新技術フォーラム「とやまの心が生み出す新技術」を開催
- ・平成13年12月 商品化・事業化支援交流会を開催

◇ 基金の設置

(財)富山技術開発財団継続基金 債務保証基金、技術振興基金、技術開発基金、学術文庫基金、デザイン振興基金(平成20年度で終了)、地域産業活性化基金、技術者育成基金

(財)富山県中小企業振興財団継続基金 指導体制強化基金、創造的中小企業創出支援基金(平成17年度で終了)、信用補完基金(平成16年度で終了)、中小商業活性化基金(平成13年度で終了)、商店街等競争力強化基金(平成17年度で終了)、中心市街地商業活性化基金(平成20年度で終了)

(財)富山県産業情報センター継続基金 情報化基盤整備基金(平成20年度で終了)

◇ 主要経済指標

区分	人口(H13.10.1)	製造品出荷額(H13.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,121千人	3,317,581百万円	(H17=100) 89.1	0.57	3,083千円
日本	127,291千人	286,667,406百万円	(H17=100) 92.5	0.56	2,840千円

参考 世界の人口 6,195,000千人 (H13.7.1)

長期プライムレート(年度末)	2.30%
為替レート(年末・米ドル)	131.47 円

株価指数	東証(年平均)	1,195.10
	日経(年末終値)	10,542.62円

貿易収支(年間計)	84,013 億円
-----------	-----------

◇ 社会の出来事

- 平成13年 4月 富山県民新世紀計画スタート
- 平成13年 4月 富山県男女共同参画推進条例施行
- 平成13年 5月 富山県旅券センター高岡支所開所
- 平成13年 5月 北陸新幹線(上越～富山間)建設工事着工
- 平成13年 7月 神通川左岸流域下水道流域全市町村供用開始
- 平成13年 9月 東京ディズニーシー開園
- 平成13年 9月 アメリカ同時多発テロ事件で多数の死傷者
- 平成13年10月 宇奈月ダム竣工
- 平成13年10月 富山ビジネスインキュベーション施設 情報ビル内オープン
- 平成13年11月 世界貿易機関(WTO)に中国加盟
- 平成14年 1月 欧州単一通貨ユーロの現金流通開始



北陸新幹線(上越～富山間)建設工事 起工式

平成14年度 (2002)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ 地域新事業資源発掘交流連携事業(平成15年度で終了)
- ・ 大学等交流会開催事業(平成15年度～とやま産学官交流会開催事業)(平成19年度で終了)
- ・ 知的クラスター創成事業(平成19年度で終了)
- ・ 知的クラスター創成事業推進本部活動事業(平成22年度～知的クラスター創成推進事業)
- ・ さきがけ研究開発助成事業(平成17年度で終了)
- ・ 元気ベンチャー創出事業(平成16年度で終了)
- ・ ものづくり創出事業(平成16年度で終了)
- ・ 新産業・雇用創出モデル事業(福祉・介護分野)(平成16年度で終了)
- ・ 経営管理者研修事業(平成16年度で終了)
- ・ 産業技術セミナー開催事業(平成15年度で終了)
- ・ ビジネスプランセミナー開催事業(平成15年度で終了)
- ・ ベンチャー起業化スクール開催事業(平成15年度で終了)
- ・ 地域求職活動援助事業(平成16年度で終了)
- ・ イタリアデザイン交流支援事業(平成17年度で終了)



大学等交流会開催事業(とやま産学官交流会フォーラム開催)



イタリアデザイン交流支援事業(ミラノデザインコンペティション入賞作品の試作品)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ 産業支援データベース整備事業

TONIOの出来事

- ・ 平成14年度 地域求職活動援助事業として県内CATVで6カ月間に30分番組20本を放映
- ・ 平成14年4月 文部科学省が知的クラスター創成事業の試行地域に指定
- ・ 平成14年6月 富山県産業支援総合情報システムが運用開始
- ・ 平成14年9月 とやま産学官交流会フォーラムを開催
- ・ 平成14年11月 介護福祉起業家育成講座を開催
- ・ 平成15年2月 知的クラスター創成事業(とやま医薬バイオクラスター)を開始

◇ 主要経済指標

区分	人口(H14.10.1)	製造品出荷額(H14.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,119千人	3,225,710百万円	(H17=100) 92.8	0.61	3,119千円
日本	127,435千人	269,361,805百万円	(H17=100) 91.4	0.56	2,791千円

参考 世界の人口 6,274,000千人 (H14.7.1)

長期プライムレート(年度末)	1.50%
為替レート(年末・米ドル)	119.37 円

株価指数	東証(年平均)	979.49
	日経(年末終値)	8,578.95円

貿易収支(年間計)	115,503 億円
-----------	------------

◇ 社会の出来事

- 平成14年 5月 経団連と日経連が統合し日本経団連発足
- 平成14年 7月 富山～東京便 全日空と日本航空のダブルトラック化
- 平成14年 8月 住民基本台帳ネットワークシステム運用開始
- 平成14年 9月 日中自治体友好交流会議が富山国際会議場で開催
- 平成14年 9月 富山県景観条例制定
- 平成14年11月 東海北陸自動車道(五箇山～白川郷間)開通
- 平成14年12月 富山市出身の田中耕一さんノーベル化学賞受賞
- 平成15年 2月 日本海学推進機構を設置
- 平成15年 2月 スペースシャトル・コロンビア号大気圏突入後墜落
- 平成15年 3月 北陸自動車道富山西ICが完成
- 平成15年 3月 田中耕一さんへの富山県名誉県民・富山市名誉市民の贈呈式開催
- 平成15年 3月 富山県個人保護条例、都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例制定



北陸自動車道富山西IC 完成

平成15年度 (2003)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ 戦略的基盤技術力強化事業(平成18年度～戦略的基盤技術高度化支援事業)
- ・ 販路発掘・事業化総合支援事業(平成18年度～販路発掘・事業化コーディネート事業)(平成21年度で終了)
- ・ ビジネスインキュベーション推進事業
- ・ 創業・ベンチャースタートアップ支援事業(平成16年度で終了)
- ・ 独自技術育成専門家派遣助成事業(平成19年度で終了)
- ・ 中小企業再生支援協議会事業
- ・ とやまE製造業実践塾(平成19年度で終了)
- ・ 起業化推進事業(平成17年度で終了)
- ・ 技術シーズ・ニーズ交流事業(平成17年度で終了)
- ・ 新産業・雇用創出モデル事業(コミュニティ・ビジネス分野)(平成16年度で終了)



とやま医薬バイオフォーラム開催

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- ・ エネルギー使用合理化設備導入促進支援事業

TONIOの出来事

- ・ 平成15年度 製造業者向けのネット活用実践講座を全国にさががけて開催
- ・ 平成15年4月 富山県中小企業再生支援協議会の事務局を設置
- ・ 平成15年6月 とやま医薬バイオフォーラムを開催
- ・ 平成15年9月 とやま医薬バイオクラスター海外連携ドイツ(イエナ)等
- ・ 平成15年10月 試験研究機関講演会をサンシップで開催



製造業者向けネット活用実践講座開催

◇ 主要経済指標

区分	人口(H15.10.1)	製造品出荷額(H15.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,117千人	3,404,809百万円	(H17=100) 98.3	0.81	3,185千円
日本	127,619千人	273,734,436百万円	(H17=100) 94.1	0.69	2,804千円

参考 世界の人口 6,354,000千人 (H15.7.1)

長期プライムレート(年度末)	1.65%
為替レート(年末・米ドル)	106.97 円

株価指数	東証(年平均)	918.86
	日経(年末終値)	10,676.64円

貿易収支(年間計)	119,768 億円
-----------	------------

◇ 社会の出来事

- 平成15年 4月 日本郵政公社発足
- 平成15年 5月 個人情報保護法成立
- 平成15年 6月 パスポートの日曜日交付スタート
- 平成15年 9月 富山新港旅客パーツ供用開始
- 平成15年10月 中国が世界で3番目の有人宇宙船の打上成功
- 平成15年11月 ワールドカップバレー女子富山大会開催
- 平成15年11月 イラクで日本人外交官2名が銃撃され死亡
- 平成16年 2月 富山～上海線(東方航空チャーター便)就航
- 平成16年 3月 民間棟と公共棟からなるウイング・ウイング高岡完成
- 平成16年 3月 国道8号魚津滑川バイパス開通



国道8号魚津滑川バイパス開通式

平成16年度 (2004)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- 産学官連携推進体制整備事業
- 技術移転推進事業(平成17年度で終了)
- バイオジャパン出展参加事業(平成20年度で終了)
- 元気とやま中小企業総合支援ファンド事業
- 新商品企画塾開催事業(平成17年度で終了)
- 環日本海経済交流推進事業
- 環日本海経済情報ネットワーク事業
- 貿易投資コンサルティング事業
- 県内企業中国見本市出展支援事業(平成21年度で終了)
- 県内企業中国商談ミッション派遣等事業(平成17年度で終了)
- NEAR inとやま開催事業(隔年事業)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- 知的クラスター創成事業産学官連携推進事業
- 展示会出展支援事業

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- 研修会開催事業
- セミナー等開催事業
- 信用補完基金事業
- ネットワーク整備事業
- 中小企業総合展支援事業
- 新事業支援施設支援強化事業
- 取引条件改善講習会等開催事業
- 共同受発注開拓強化促進事業
- 情報サービス事業・調査事業
- 情報化普及活動事業
- 下請振興資金預託金支出
- ベンチャープラザとやま開催事業
- 起業化開発指導事業



TONIOの出来事

- 平成16年度 元気とやま中小企業総合支援ファンド事業を開始
- 平成16年10月 産学官連携推進センター、中小企業支援センター、環日本海経済交流センターの三センター制に改組
- 平成17年2月 北陸地域クラスターフォーラムを開催
- 平成17年3月 県内企業等経済交流ミッションを中国(大連市・青島市)に派遣



県内企業等経済交流ミッションを中国(大連市・青島市)に派遣



三センター制への改組に合わせて開催した「産業支援機関連携促進会議」

◇ 基金の設置

- 元気とやま中小企業総合支援基金を設置

◇ 主要経済指標

区分	人口(H16.10.1)	製造品出荷額(H16.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,117千人	3,510,096百万円	(H17=100) 98.3	1.06	3,166千円
日本	127,687千人	284,418,266百万円	(H17=100) 98.7	0.86	2,849千円

参考 世界の人口 6,433,000千人 (H16.7.1)

長期プライムレート(年度末)	1.65%
為替レート(年末・米ドル)	103.78 円

株価指数	東証(年平均)	1,120.07
	日経(年末終値)	11,488.76円

貿易収支(年間計)	139,022 億円
-----------	------------

◇ 社会の出来事

- 平成16年 4月 富山県大連事務所開設
- 平成16年 6月 能越自動車道(高岡北～高岡間)開通
- 平成16年 8月 富山県・遼寧省友好県省締結20周年記念式典開催
- 平成16年10月 高岡運転免許更新センター開設
- 平成16年10月 新潟県中越地震で多数の死傷者
- 平成16年11月 合併により新「砺波市」、「南砺市」誕生
- 平成16年11月 北西太平洋行動計画(NOWPAP)本部事務局(RUC) 富山事務所開所
- 平成16年11月 中沖豊知事が退任し、石井隆一知事が就任
- 平成16年12月 インドネシア・スマトラ沖地震・津波で多数の死傷者
- 平成17年 3月 日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」開幕



能越自動車道(高岡北～高岡間)開通式

平成17年度 (2005)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ 筑波研究学園都市研究交流事業(平成20年度～先端研究拠点交流事業)
- ・ 知的クラスター加速化促進事業(平成20年度で終了)
- ・ 次世代クラスター形成支援事業(平成22年度で終了)
- ・ 卒業研究テーマ実用化研究支援事業(平成22年度で終了)
- ・ 企業ニーズ対応型産学官共同研究事業(平成20年度で終了)
- ・ とやま産業クラスターネットワーク構築事業(平成21年度で終了)
- ・ とやま起業未来塾事業
- ・ 起業家の卵育成事業
- ・ ものづくり産業活性化人材育成支援事業(平成22年度で終了)
- ・ 中小企業新事業展開支援普及促進事業(平成18年度で終了)
- ・ NEAR出展勧誘事業(隔年事業)
- ・ 県内産業海外市場開拓支援事業(平成18年度地場産品欧州市場開拓支援事業)(平成18年度で終了)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ WEB運営実践パソコン講座事業
- ・ 情報化セミナー事業
- ・ オンラインショップ実践講座事業

旧財団からの継続事業で当年度で終了(休止)

- ・ 技術開発事業(債務保証事業)
- ・ 産学官共同研究助成事業
- ・ 中小企業環境・安全等対応情報提供事業
- ・ 設備貸与事業(18年度以降新規貸与を当分の間休止)
- ・ 商店街等競争力強化事業
- ・ 技術開発促進事業
- ・ 技術交流事業
- ・ 人材育成事業

◇ 基金の設置

- ・ 創業・ベンチャー支援コクヨ基金を設置

◇ 主要経済指標

区分	人口(H17.10.1)	製造品出荷額(H17.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,112千人	3,589,351百万円	(H17=100) 100.0	1.17	3,193千円
日本	127,768千人	295,800,300百万円	(H17=100) 100.0	0.98	2,865千円

参考 世界の人口 6,512,000千人 (H17.7.1)

長期プライムレート(年度末)	2.10%
為替レート(年末・米ドル)	117.48 円

株価指数	東証(年平均)	1,270.09
	日経(年末終値)	16,111.43円

貿易収支(年間計)	103,348 億円
-----------	------------

◇ 社会の出来事

- 平成17年 4月 合併により新「富山市」誕生
- 平成17年 4月 富山県安全なまちづくり条例施行
- 平成17年 4月 ペイオフ完全施行
- 平成17年 4月 JR西日本福知山線脱線事故で多数の死傷者
- 平成17年 6月 北陸新幹線県内全区間着工(富山～金沢間着工)
- 平成17年 9月 日本スポーツマスターズ2005富山大会開催
- 平成17年10月 県内の国立三大学が統合し新「富山大学」誕生
- 平成17年10月 富山～上海間の国際定期便就航
- 平成17年11月 合併により新「高岡市」、「射水市」誕生
- 平成18年 2月 トリノオリンピックで荒川静香選手が金メダル
- 平成18年 3月 合併により新「黒部市」誕生

TONIOの出来事

- ・ 平成17年度 起業家の卵育成事業として、「ものづくり工場見学会」や「社長の一日かばん持ち」等を開始
- ・ 平成17年7月 とやま起業未来塾開校式を、平成18年3月発表会・修了式を情報ビルで開催
- ・ 平成17年10月 第1回元気とやまテクノフォーラムを開催
- ・ 平成17年12月 新技術・新工法展示商談会をトヨタ自動車で開催
- ・ 平成17年11月より、中国研究会を原則毎月1回開催

- ・ とやまベンチャーマッチングフェア事業(平成21年度で終了)
- ・ 創業・ベンチャー挑戦応援事業
- ・ 中小企業自立化支援事業
- ・ 貿易投資指導事業



起業家の卵育成事業(ものづくり工場見学会)



とやま起業未来塾 発表会・修了式



富山～上海間の国際定期便就航

平成18年度 (2006)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ ロボット技術開発支援事業

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ 地域経済活性化可能性調査事業
- ・ 電子商取引活用サポート事業
- ・ 県内企業上海ビジネス交流事業

TONIOの出来事

- ・ 電子商取引活用サポート事業として、インターネットビジネス戦略セミナー、戦略的ネットビジネス基本講座、ネットショップ開店・運営講座等を開催
- ・ 平成18年9月 とやまの未来を拓く科学技術交流会を開催
- ・ 平成18年9月 NEAR2006inとやまを開催
- ・ 平成18年11月 とやま医薬バイオクラスター海外連携 アメリカ(バイオバレー)他
- ・ 平成18年11月 県内企業上海ビジネス交流事業で、商談ミッションを上海市に派遣し、「第8回中国国際工業博覧会」出展企業との商談や上海進出企業視察等を実施
- ・ 平成18年12月中小企業サポートセミナーin高岡を開催
- ・ 平成19年2月 とやまロボットシンポジウム2007を開催



電子商取引活用サポート事業(ネットショップ開店・運営講座)



県内企業上海ビジネス交流事業(上海進出企業視察)

◇ 主要経済指標

区分	人口(H18.10.1)	製造品出荷額(H18.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,110千人	3,725,390百万円	(H17=100) 101.2	1.27	3,124千円
日本	127,770千人	314,834,621百万円	(H17=100) 104.5	1.06	2,937千円

参考 世界の人口 6,592,000千人 (H18.7.1)

長期プライムレート(年度末)	2.20%
為替レート(年末・米ドル)	118.92 円

株価指数	東証(年平均)	1,625.92
	日経(年末終値)	17,225.83円

貿易収支(年間計)	94,643 億円
-----------	-----------

◇ 社会の出来事

- 平成18年 4月 富山ライトレール開業
- 平成18年 5月 会社法が施行
- 平成18年 6月 富山県森づくり条例制定
- 平成18年 7月 海フェスタとやま開催
- 平成18年 8月 日露文化フォーラム2006in富山開催
- 平成18年 8月 富山市西町のスクランブル方式交差点廃止
- 平成18年10月 とやま子育て家庭応援優待制度スタート
- 平成18年10月 北朝鮮が地下核実験を実施したと発表
- 平成18年12月 第1回美的祭典越中アートフェスタ2006開催
- 平成19年 3月 北海道夕張市、財政再建団体に移行
- 平成19年 3月 能登半島地震で死傷者



富山ライトレール開業

平成19年度 (2007)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・とやま発新事業チャレンジ支援事業(平成21年度～とやま新事業創造基金 地域資源ファンド事業)
- ・知的クラスター形成促進事業(平成20年度で終了)
- ・とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業
- ・電子商取引開設支援事業(平成20年度で終了)
- ・地域産業立地推進事業
- ・富山県立地環境説明会事業(平成21年度で終了)
- ・NEAR出展勧誘に係るゾエトロ委託事業(平成21年度で終了)



富山県立地環境説明会(左:名古屋 右:東京)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・海外クラスター連携促進事業
- ・地域資源活用企業化支援事業
- ・とやま立地環境体験会開催事業
- ・上海・長江流域ビジネスミッション派遣事業
- ・NEAR2008関連情報収集事業



とやま立地環境体験会で本県の優れた立地環境をPR

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- ・地域新生コンソーシアム研究開発事業
- ・中心市街地商業活性化推進事業

TONIOの出来事

- ・平成19年9月 地域資源を活用した新事業の創出を支援する地域支援事務局を開設
- ・平成19年9月 とやま立地環境体験会として、東海地区の優良企業に本県の優れた立地環境をPR
- ・平成19年10月 とやま医薬バイオクラスター海外連携 スイス(バーゼル)
- ・平成19年10月 とやまバイオセミナー2007「バイオ燃料の可能性を考える」を開催
- ・平成19年10月 名古屋、11月 東京で「富山県立地環境説明会」を開催

◇ 基金の設置

- ・とやま発新事業チャレンジ支援基金(平成21年度「とやま新事業創造基金地域資源ファンド」に名称変更)、創業チャレンジ支援基金を設置

◇ 主要経済指標

区分	人口(H19.10.1)	製造品出荷額(H19.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,106千人	3,960,084百万円	(H17=100) 100.7	1.13	3,142千円
日本	127,771千人	336,756,635百万円	(H17=100) 107.4	1.02	2,965千円

参考 世界の人口 6,671,000千人 (H19.7.1)

長期プライムレート(年度末)	2.10%
為替レート(年末・米ドル)	113.12 円

株価 指数	東証(年平均)	1,663.69
	日経(年末終値)	15,307.78円

貿易収支(年間計)	123,223 億円
-----------	------------

◇ 社会の出来事

- 平成19年 4月 元気とやま創造計画策定
- 平成19年 4月 水と緑の森づくり税導入
- 平成19年 4月 能越自動車道(氷見～高岡北間)開通
- 平成19年 6月 入善町の漁船、ロシア当局に拿捕
- 平成19年 7月 新潟県中越沖地震で多数の死傷者
- 平成19年 8月 アメリカサブプライム住宅ローン返済の焦げ付き急増
- 平成19年 9月 総曲輪フェリオ開業
- 平成19年 9月 台風被害で一部区間不通のJR高山本線が、3年ぶりに全線開通
- 平成20年 1月 中国製冷凍餃子で食中毒、農薬成分検出
- 平成20年 3月 JR高山本線に新駅「婦中鶴坂駅」開業



3年ぶりに、JR高山本線全線開通

平成20年度 (2008)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ ロボットプロジェクト推進事業(平成21年度～次世代ロボット技術開発支援事業)
- ・ 知的クラスター地域プロジェクト事業
- ・ 地域イノベーション創出研究開発事業
- ・ 新現役チャレンジ支援事業(平成21年度で終了)
- ・ 地域力連携拠点事業(平成21年度で終了)
- ・ 富山県商談会in神奈川開催事業(平成21年度で終了)
- ・ 下請かけこみ寺事業

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ 日中韓ロボット研究者交流ワークショップ開催事業
- ・ 農商工等連携支援事業
- ・ ネットビジネス実践塾事業

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- ・ デザイン振興事業

TONIOの出来事

- ・ 平成20年度 知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）実施地域に選定、富山・石川地域「ほくりく健康創造クラスター」を開始
- ・ 平成20年6月 2008日中韓産業交流会（大阪）に出展
- ・ 平成20年7月 富山県商談会in神奈川を横浜新都市ビルで開催
- ・ 平成20年10月 農商工連携セミナーを開催
- ・ 平成20年10月 NEAR2008inとやまを開催



富山県商談会in神奈川



◇ 基金の設置

- ・ とやま新事業創造基金農商工連携ファンドを設置

◇ 主要経済指標

区分	人口(H20.10.1)	製造品出荷額(H20.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,101千人	3,940,610百万円	(H17=100) 97.8	0.77	2,977千円
日本	127,692千人	335,578,825百万円	(H17=100) 103.8	0.77	2,756千円

参考 世界の人口 6,750,000千人 (H20.7.1)

長期プライムレート(年度末)	2.25%
為替レート(年末・米ドル)	90.28 円

株価指数	東証(年平均)	1,187.82
	日経(年末終値)	8,859.56円

貿易収支(年間計)	40,278 億円
-----------	-----------

◇ 社会の出来事

- 平成20年 4月 県内スーパー等でレジ袋有料化
- 平成20年 4月 氷見市民病院が公設民営化でスタート
- 平成20年 4月 後期高齢者医療制度が始まる
- 平成20年 7月 第一回とやま世界こども舞台芸術祭開催
- 平成20年 7月 東海北陸自動車道全線開通
- 平成20年12月 カターレ富山のJリーグ2部昇格決定
- 平成21年 1月 オバマ氏第44代アメリカ合衆国大統領に就任
- 平成21年 3月 高速道路ETC利用「土日祝日千円乗り放題」開始
- 平成21年 3月 米アカデミー賞外国語映画賞受賞の滝田洋二郎監督へ富山県民栄誉賞贈呈



最後の区間が開通した東海北陸自動車道

平成21年度 (2009)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・とやま産学官ネットワークシステム構築事業(平成22年度～とやま産学官連携推進事業)
- ・小水力発電進出支援事業
- ・中小企業外国出願助成事業
- ・地域活性化ベンチャーファント'支援事業
- ・知的クラスター商品化・販路開拓促進事業
- ・産学連携プロジェクト推進支援事業
- ・創業・ベンチャー支援アドバイザー設置事業
- ・インキュベーションマネージャー設置事業
- ・中小企業支援制度活用促進事業
- ・とやま新事業創造基金 農商工連携ファント'事業
- ・農商工連携ブラッシュアップ事業
- ・下請企業緊急実態調査事業
- ・ITビジネス利活用促進支援事業
- ・ロボット技術研究交流事業
- ・創業チャレンジ支援事業
- ・地域産学官連携強化支援事業(産学官金交流会)
- ・北陸3県繊維産業クラスター事業
- ・知的クラスター成果PR事業
- ・富山県ものづくり研究開発センター(仮称)開発支援棟整備事業(平成22年度で終了)

当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ロボットモデル開発事業
- ・中国環渤海地域貿易投資商談ミッション事業

旧財団からの継続事業で当年度で終了

- ・情報技術者育成事業

TONIOの出来事

- ・平成15年度に開始した地域新生コンソーシアム研究開発事業の研究成果を基に「プラスマドライブプロセス装置」の事業化に成功
- ・18年度に開始した戦略的基盤技術高度化支援事業の研究成果を基に金型保護膜「スムースTX、スムースMX」の事業化に成功
- ・平成21年8月 横浜開港150周年記念商談会を横浜エクセルホテル東急で開催
- ・平成21年8月 北陸3県繊維産業クラスター交流会 第1回先端繊維技術セミナー開催



農商工連携ファンド事業取組成果(新商品・試作品等)展示会より



北陸3県繊維産業クラスター(先端繊維技術セミナー)

◇ 主要経済指標

区分	人口(H21.10.1)	製造品出荷額(H21.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年度平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,095千人	2,868,220百万円	(H17=100) 74.7	0.51	2,638千円
日本	127,510千人	265,259,031百万円	(H17=100) 81.1	0.45	2,660千円

参考 世界の人口 6,829,000千人 (H21.7.1)

長期プライムレート(年度末)	1.60%
為替レート(年末・米ドル)	92.13 円

株価指数	東証(年平均)	869.33
	日経(年末終値)	10,546.44円

貿易収支(年間計)	40,381 億円
-----------	-----------

◇ 社会の出来事

- 平成21年 4月 全国で景気後退による4月採用新卒内定者の自宅待機相次ぐ
- 平成21年 5月 裁判員裁判がスタート
- 平成21年 5月 新型インフルエンザ 国内で初めて患者が発生
- 平成21年 6月 とやまの未来をつくる子育て支援その他の少子化対策の推進に関する条例制定
- 平成21年 8月 臨港道路伏木外港1号線伏木万葉大橋開通
- 平成21年10月 能越自動車道(氷見北～氷見間)開通
- 平成21年11月 富山市内環状線路面電車「セントラム」運行開始
- 平成21年11月 行政刷新会議ワーキンググループが事業仕分
- 平成22年 1月 日本年金機構が発足
- 平成22年 2月 バンクーバーオリンピックで田畑・穂積選手らが銀メダル
- 平成22年 2月 知事公館を廃止活用し、ふるさと文学の拠点施設とすることを発表
- 平成22年 3月 田畑・穂積選手へ富山県民栄誉賞贈呈



旧知事公館を活用した「高志の国文学館」完成予想図

平成22年度 (2010)

◇ 事業の変遷

当年度の新規事業(次年度以降継続事業)

- ・ 高度技術実用化支援事業
- ・ 地域産学官共同研究拠点整備事業
- ・ ものづくり研究開発センター利活用推進事業
- ・ 販路開拓総合助成事業
- ・ 販路開拓マッチングコーディネート事業
- ・ 中小企業支援施策普及啓発事業
- ・ 中小企業支援フォローアップ強化事業
- ・ 中小企業支援センターIT充実事業
- ・ 広域商談会等開催事業
- ・ NEAR2010開催ジェット委託事業(隔年実施)

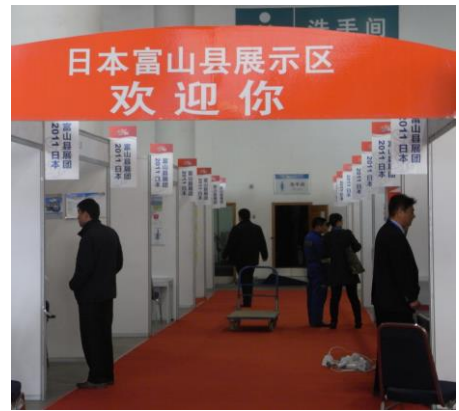
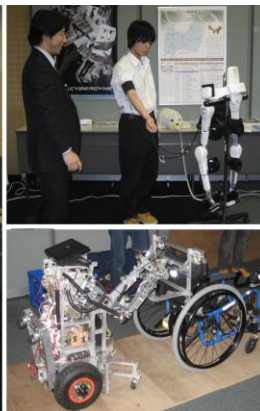
当年度の新規事業(単年度終了事業)

- ・ ロボットシンポジウム開催事業
- ・ 次世代自動車情報収集調査事業
- ・ 中国市場調査・マーケティング活動支援事業
- ・ 「富山ものづくり総合見本市」翻訳・通訳委託事業

TONIOの出来事

- ・ 平成21年度に開始した戦略的基盤技術高度化支援事業の研究成果を基に「直線溶接用レーザー溶接機」の事業化に成功
- ・ 平成22年8月「富山県ものづくり総合見本市(「NEAR2010」と「とやまテクノフェア」の同時開催)」を開催
- ・ 富山地域製造業海外販路開拓事業として、平成22年12月「ロシア商談会」を開催、平成23年3月「中国国際装備製造業博覧会(済南市、西安市)」に出展
- ・ 平成23年1月 福祉系ロボットシンポジウム開催
- ・ 平成23年3月 ものづくり研究開発センター開所式

- ・ 中小企業応援センター事業
- ・ 富山地域製造業海外販路開拓支援事業
- ・ 輸出促進海外ミッション派遣事業



福祉系ロボットシンポジウム(パネルディスカッション、ロボット展示)

中国国際装備製造業博覧会(済南市)出展

◇ 主要経済指標

区分	人口(H22.10.1)	製造品出荷額(H22.12.31)	鉱工業生産指数(年平均)	有効求人倍率(年平均)	1人当たり県民所得
富山県	1,093千人	3,223,323百万円	(H17=100) 87.6	0.75	-
日本	128,057千人	289,107,683百万円	(H17=100) 94.4	0.56	-

参考 世界の人口 6,909,000千人 (H22.7.1)

長期プライムレート(年度末)	1.60%
為替レート(年末・米ドル)	81.51 円

株価指数	東証(年平均)	885.43
	日経(年末終値)	10,228.92円

貿易収支(年間計)	79,789 億円
-----------	-----------

◇ 社会の出来事

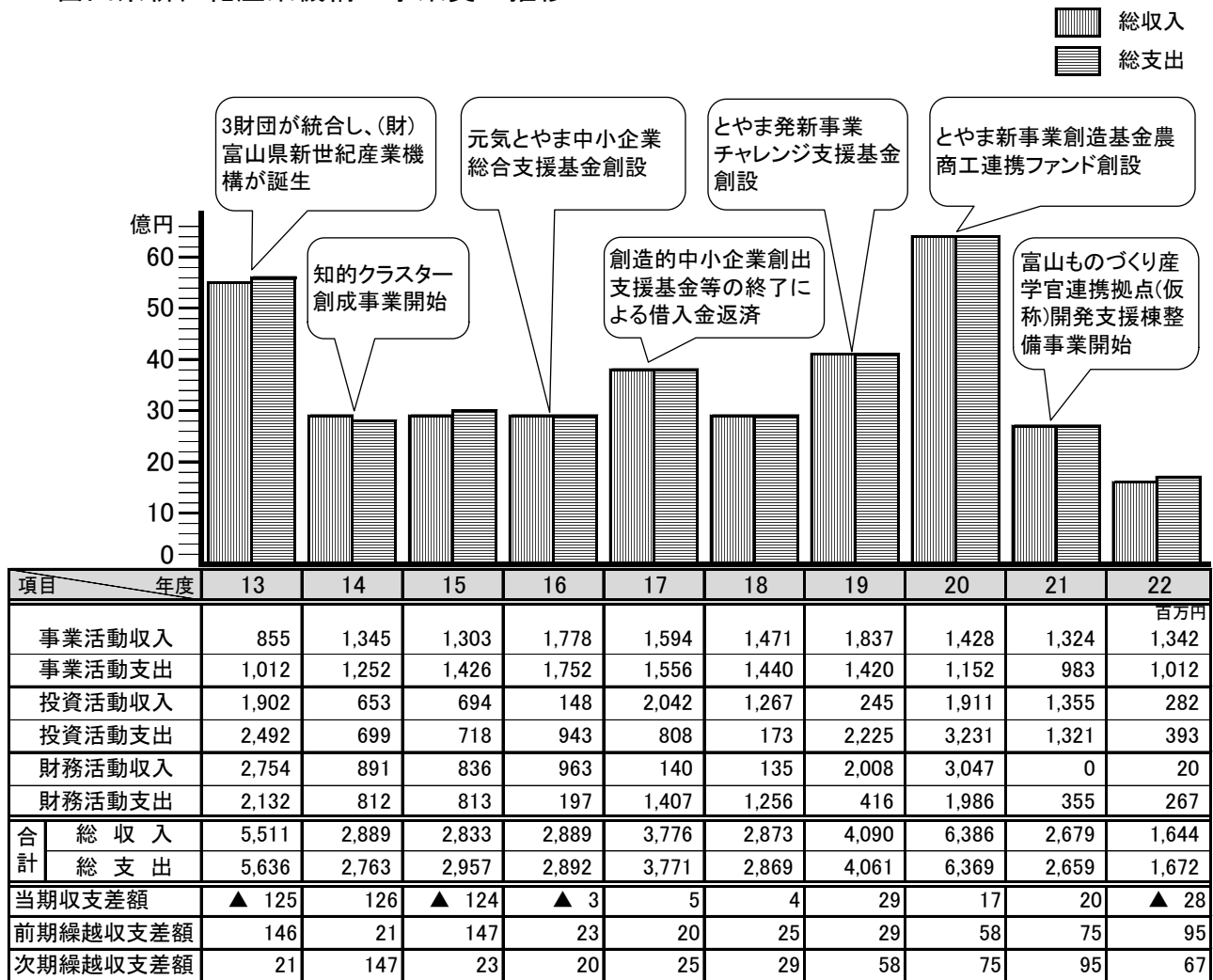
- 平成22年 4月 メキシコ湾海底油田基地から大量原油流出
- 平成22年 6月 富山市の小竹貝塚で縄文時代の人骨多数出土
- 平成22年 6月 小惑星探査機「はやぶさ」帰還
- 平成22年 7月 県内で28年ぶりの女子プロゴルフツアー開催
- 平成22年 8月 宇奈月地域の花こう岩から、国内最古の砂粒を発見
- 平成22年10月 チリ鉱山落盤事故で地中から33人全員救出
- 平成22年10月 富山県消防学校・防災拠点施設建設工事着工
- 平成22年10月 第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」開催
- 平成22年12月 県内の白鳥から高病原性鳥インフルエンザ菌が検出
- 平成23年 3月 東日本大震災により多数の死傷者、原子力発電所炉心損傷
- 平成23年 3月 富山～北京便(大連経由)就航



富山県消防学校・防災拠点施設 起工式

Ⅲ 数字で見る主要事業の実績

1 富山県新世紀産業機構 事業費の推移



2 基金年度末残高の推移

(単位：千円)

基金名	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
債務保証基金		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
技術振興基金		1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458	1,087,458
技術開発基金		293,200	293,200	293,200	293,200	293,200	293,200	293,200	293,200	293,200	293,200
学術文庫基金		15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
デザイン振興基金		743,090	743,090	743,090	743,090	743,090	743,090	743,090	743,090	廃止	—
地域産業活性化基金		900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
技術者育成基金		234,000	234,000	234,000	234,000	234,000	234,000	234,000	234,000	234,000	234,000
指導体制強化基金		87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000
創造的中小企業創出支援基金		400,000	400,000	400,000	400,000	廃止	—	—	—	—	—
信用補完基金		260,857	260,857	260,857	260,857	廃止	—	—	—	—	—
商店街等競争力強化基金		2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,100,000	廃止	—	—	—	—
中心市街地商業活性化基金		900,000	900,000	900,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	廃止	—	—
情報化基盤整備基金		300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	廃止	—
元気とやま中小企業総合支援基金		—	—	—	200,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
とやま発新事業チャレンジ支援基金		—	—	—	—	—	—	2,000,000	2,000,000	▼	—
とやま新事業創造基金地域資源ファンド		—	—	—	—	—	—	—	—	2,000,000	2,000,000
とやま新事業創造基金農商工連携ファンド		—	—	—	—	—	—	—	3,000,000	3,000,000	3,000,000
創業・ベンチャー支援ココロ基金		—	—	—	—	900	800	700	600	500	400
創業チャレンジ支援基金		—	—	—	—	—	—	20,000	20,000	13,091	12,382

3 産学官連携推進センターの動き

(1) 国の提案公募型研究開発採択事業等の実施状況

① 知的クラスター創成事業

ア 知的クラスター創成事業（第Ⅰ期）「とやま医薬バイオクラスター」

医薬やバイオの研究シーズとマイクロエレクトロニクスの技術を組み合わせ、バイオエレクトロニクス領域の産学官共同研究を推進するとともに、事業化に向けた取り組みを積極的に実施。

イ 知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）「ほくりく健康創造クラスター」

第Ⅰ期事業の研究成果を基に、平成 20、21 年度は石川県と共同で知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)を、平成 22 年度からは、イノベーションシステム整備事業を実施。

ウ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目 \ 年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22
実施件数	3	7	6	6	8	8	7	8	8
事業費	200,000	277,500	462,500	519,968	531,776	508,486	733,809	733,398	672,708
国内特許出願	5	11	15	18	12	7	2	0	14
PCT 国際出願	0	4	3	3	9	2	2	2	7
海外特許出願(各国移行手続)	0	0	1	4	2	0	0	1	3

注 平成 20 年度以降は富山・石川地域の事業費を計上

② 地域新生コンソーシアム研究開発事業

ア 地域において、産業界、学界、県等の試験研究機関等が強固なコンソーシアム(研究共同体)を組み、蓄積してきた技術シーズを活用し、地域の技術開発能力等を生かしつつ研究開発を行い、即効性の高い地域新産業の創出を図る。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目 \ 年度	13	14	15	16	17	18	19
実施件数	4	3	1	3	2	2	3
事業費	4,956	134,561	67,634	141,789	64,182	105,643	128,067

③ 地域イノベーション創出研究開発事業

ア 地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発資源の最適な組み合わせからなる研究体を組織し、最先端の技術シーズをもとに新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を実施。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目 \ 年度	20	21	22
実施件数	3	4	2
事業費	222,617	159,538	41,084

④ 戦略的基盤技術力強化事業（平成 18 年度～ 戦略的基盤技術高度化支援事業）

ア 戦略的基盤技術力強化事業

基盤的・戦略的分野について優れた技術を有する中小企業と、当該技術のユーザー企業、大学、公設試験研究機関等が研究共同体を構成し、競争力強化のために鍵を握る研究開発を戦略的かつ集中的に実施し、早期の事業化を図る。

イ 戦略的基盤技術高度化支援事業

我が国経済を牽引していく重要な川下産業の競争力を支えるモノ作り基盤技術の高度化に向けて、法律に基づく認定を受けた中小企業が認定計画に沿って行う、革新的ハイリスクな研究開発や生産プロセスのイノベーション等を実現する研究開発を実施。

ウ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	15	16	17	18	19	20	21	22
実施件数		1	1	1	1	1	2	4	6
事業費		60,297	75,986	75,629	50,670	38,402	67,504	151,419	216,660

⑤ 北陸3県繊維産業クラスター事業

ア 北陸地域繊維産業の活性化を図るため「北陸3県繊維産業クラスター」を設立し、研究開発・販路開拓・人材育成の各分野において施策を推進。

イ 事業の推移

(単位：回、人、千円)

項目	年度	21	22
先端繊維技術講座 (支援セミナー)	開催回数	3	3
	参加者数	253	144
研究開発高度化研 修(グループ勉強会)	開催回数		9
	参加者数		342
事業費		2,113	18,088

(2) 県(委託・補助)及びTONIO自主事業の実施状況

① 技術開発助成事業

ア 事業化が期待できる新技術・新製品の開発、生産の合理化、高付加価値化、省資源・省エネルギー、公害防止に関する技術開発、ソフトウェア開発に要する経費を助成。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
助成件数		3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
助成金額		15,050	5,904	15,000	0	0	0	0	0	0	0

② 新商品・新事業創出公募事業

ア バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機などの成長分野を中心に、産学官の研究グループから調査研究や試作開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を委託。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
バイオ分野	採択数	5	5	4	4	4	2	3	3	2	1
	委託金額	25,000	22,500	15,990	9,733	11,350	3,999	5,946	5,805	4,000	2,000
深層水分野	採択数	7	5	4	2	2	2	3	1	2	1
	委託金額	6,965	4,183	4,000	2,000	3,800	3,836	6,000	2,000	4,000	2,000
環境・エネルギー分野	採択数			1	0	2	1	2	1	1	1
	委託金額			3,000	0	3,700	2,000	2,600	2,000	1,300	2,000
ものづくり分野	採択数				3	5	6	4	6	6	5
	委託金額				9,000	8,715	11,384	6,516	9,323	10,289	10,000
航空機分野	採択数										2
	委託金額										3,897
先端科学技術分野	採択数			4							
	委託金額			10,695							
重点研究枠(研究 シーズ発掘型)	採択数	5	3								
	委託金額	4,895	2,660								
重点研究枠(実用 化調査型)	採択数	2	3								
	委託金額	10,000	13,368								

③ 高度技術実用化支援事業

ア 基礎研究終了後の実用化をめざし、産学官によるより高度な技術を導入した商品開発等の大規模な実証的研究テーマを公募し、モデル的な研究開発を委託。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	22
採択数		3
委託金額		13,609

④ 卒業研究テーマ等実用化研究支援事業

ア 企業ニーズに基づいた卒業研究の成果を実用化する研究テーマを産学官の共同研究グループから募集し、実用化研究を委託。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
採択数		6	6	5	3	4	4
委託金額		6,000	9,992	9,595	6,000	6,000	5,336

⑤ 知的クラスター加速化促進事業

ア 「とやま医薬バイオクラスター」への企業参加の促進や研究成果の起業化を加速させるため、企業が行う研究・開発等に必要な経費を助成。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	17	18	19	20
助成件数		2	1	1	1
助成金額		7,150	1,500	4,500	4,500

⑥ 知的クラスター商品化・販路開拓促進事業

ア 文部科学省の知的クラスター創成事業(第Ⅰ期及び第Ⅱ期)の研究成果等を事業化に結び付けるため、企業におけるクラスター研究成果の商品化のための研究、並びに顧客への商品無償貸与及び実証テスト等も含めた販路開拓活動等を支援。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	21	22
商品化研究開発助成	助成件数	1	1
	助成金額	5,000	4,500
販路開拓活動助成	助成件数	2	1
	助成金額	3,163	2,150

⑦ 知的クラスター地域プロジェクト事業

ア 知的クラスター創成事業の研究成果を活用し、地域における世界的クラスター形成に結びつけるため、未病をターゲットとした研究会を開催し、アンチエイジング医療研究への展開や新事業・新サービスの創出などの検討を行うとともに、共同研究及び事業化等の連携に向けた海外ミッション団の派遣を実施。

イ 事業の推移 (単位：回、件)

項目	年度	20	21	22
未病予防システム研究会開催		2	4	4
富山型アンチエイジング医療研究テーマ		2	4	4
海外ミッション団派遣回数		1	2	1

⑧ ロボット技術開発支援事業

ア 今後の成長が期待されるロボット産業分野について、創出と育成を図り、さらに発展していくよう、ネットワークの構築や技術開発を支援。

イ 事業の推移 (単位：回、人、件、千円)

項目	年度	18	19	20	21	22
ネットワーク世話人会・委員会開催		3	3	5	3	6
セミナー・技術研究会	開催回数	3	6	7	6	1
	参加者数	101	316	176	145	10
ロボットシンポジウム	開催回数	1	1			1
	参加者数	134	111			149
次世代ロボット技術開発支援事業	委託件数		2	3	3	2
	委託金額		4,000	5,828	6,000	4,000

⑨ 小水力発電進出支援事業

ア 県内の企業が、新たに小水力発電分野に参入しようとする場合に、事業化の構想や補助金を活用した技術開発につなげる調査などの課題を募集し、モデルとなるものを選定し支援。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	21	22
採択数		2	1
委託金額		311	184

(3) ネットワーク構築事業の実施状況

① とやま産業クラスターネットワーク構築事業

ア 富山県内の意欲ある中堅・中小企業から会員を募り、拠点構成企業と位置づけ、会員相互の情報交換により、ネットワークの構築を図る。

イ 事業の推移 (単位：社、回、人、)

項目	年度	17	18	19	20	21
企業訪問活動(訪問延べ企業数)(資料郵送)			92	168	225	415
事業評価委員会開催回数		3	3	2	1	
クラスター形成研究会開催回数		9	9	6	11	3
イベント出展支援	イベント数	7	6	5	5	6
	出展企業	12	10	9	5	6
マーケティング支援企業数				6		

(4) 交流事業の実施状況

① とやま産学官交流会開催事業(平成21年度～地域産学官連携強化支援事業)

ア とやま産学官交流会開催事業

県内の経営者、研究者、技術者が一堂に会し、産学官の取り組み事例の発表等を通して、産学官関係者の情報交換と交流を図るため平成13年度は活性化支援事業の一部として、平成14年度は大学等交流会開催事業として、平成15年度からとやま産学官交流会開催事業として平成19年度まで実施。

イ 地域産学官連携強化支援事業

新産業や地域イノベーションの創出、あるいは地域の産業競争力向上のため、産学官金交流会の開催をはじめ、地域の中堅・中小企業と大学等の研究者が情報共有し、産学官連携活動を効率的に実施する体制を整備。

ウ 事業の推移 (単位：回、人)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
交流会開催回数		1	1	1	1	1	1	1		1	1
交流会参加総数		200	220	307	317	618	598	412		424	454

② 筑波研究学園都市研究交流事業（平成20年度～ 先端研究拠点交流事業）

ア 筑波研究学園都市研究交流事業

筑波研究学園都市の研究者と本県の研究者との交流を拡大し、最先端の研究情報収集や人的ネットワークの構築を進める。

イ 先端研究拠点交流事業

先端研究拠点の研究者と本県の研究者・経営者との交流を拡大し、最先端の研究情報収集や人的ネットワークの構築を進める。

ウ 事業の推移

(単位：施設、人、回)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
先端施設・研究施設・展示会視察	視察先数	1	1	1	3	1	3
	参加者数	35	25	34	95	25	146
講演会参加	開催回数	1	1	1	1	1	1
	受講者数	55	39	40	34	32	49

(5) 富山県ものづくり研究開発センター開発支援棟の整備事業

富山県ものづくり研究開発センター整備の一環として、中小企業の新技術創出支援のため、産学官の共同研究スペースや企業スペース、研修室を配置する「富山県ものづくり研究開発センター開発支援棟」の整備を平成21年度から平成22年度で実施。

構造	鉄骨造、2階建	延床面積	1,255 m ²	研修室	64 m ² (1室)
プロジェクトスペース	120 m ² (2室)、80 m ² (2室)	企業レンタルスペース	40 m ² (10室)		

4 中小企業支援センターの動き

(1) 経営の革新・活性化支援の実施状況

① 窓口相談事業

ア 中小企業の経営やIT化、金融面での支援を強力に推進するため、経営やIT、金融面に精通した専門相談員を配置し、相談体制の強化・充実を図りながら実施。

イ プロジェクトマネージャー等・専門相談員による相談の推移

(単位：社、件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
相談企業数		380	384	494	456	581	508	502	509	536	498
相談延べ件数		767	816	987	996	1,061	1,083	1,116	1,201	1,107	1,087
相談内訳の合計件数		926	976	1,239	1,752	1,806	1,749	1,731	1,699	1,302	1,394
相談内訳	販路開拓	57	48	74	249	295	302	405	454	213	224
	融資・資金	198	290	501	399	338	357	302	174	136	101
	補助金	0	0	0	0	0	0	0	144	229	187
	法律	16	27	15	25	20	27	27	11	5	5
	人事・労務	33	16	21	28	8	12	13	29	13	34
	研究開発	103	85	80	136	149	187	162	336	231	126
	ビジネスプラン	25	43	83	225	242	223	303	144	82	107
	IT (販売)	32	62	92	185	198	103	128	71	107	96
	IT (管理)								20	17	17
	事業提携	6	5	17	22	69	82	76	39	27	27
	会社設立	10	7	22	22	35	29	28	9	5	12
	ISO	60	102	102	77	58	24	36	37	8	8
	特許	11	4	7	16	20	22	23	12	8	4
	経営全般	171	117	156	275	209	178	88	0	0	0
	税務	1	3	2	5	5	5	4	0	0	0
	取引適正化	2	2	4	3	10	14	2	0	0	0
省エネ	4	0	0	0	0	5	3	0	0	0	
その他	197	165	63	85	150	179	131	219	221	446	

② 専門家派遣事業

ア 中小企業の経営向上を図るため、経営・技術・情報等に精通する専門家を派遣して、診断・助言を実施。

イ 事業の推移

(単位：人、社、日)

項目		年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
専門家登録数			215	237	264	254	238	235	222	215	245	247
派遣企業数			82	93	142	194	164	142	145	121	135	90
派遣延べ日数			654	778	988	1,288	1,095	995	965	832	794	735
派遣延べ日数内訳	ISO専門家		123	372	312	491	309	120	120	70	40	50
	IT専門家		58	150	379	361	383	401	475	353	379	222
	経営コンサルタント		211	139	158	236	213	278	173	139	188	156
	技術士・技術専門家		117	47	58	116	67	45	32	65	24	32
	中小企業診断士		109	62	71	66	46	80	78	53	22	82
	社会保険労務士		19	8	8	10	0	0	0	5	8	39
	弁理士		5	0	0	4	5	6	5	0	0	3
	税理士		12	0	2	4	24	10	20	25	19	0
	その他		0	0	0	0	48	55	62	122	114	151

③ 地域力連携拠点事業

ア 小規模企業等が抱える経営課題の解決を図るため、地域力連携拠点に応援コーディネーターを配置し、パートナー連携先や他の支援機関との“つながり力”を活かした支援活動を実施。

イ 事業の推移

・ 相談事業 (単位：件)

項目	年度	20	21
経営革新計画		91	153
地域資源活用		109	120
農商工連携		100	170
新連携計画		5	0
知的資産経営		0	106
新事業展開		36	0
創業支援		37	30
再チャレンジ		0	2
IT活用		0	7
事業承継		4	3
その他		96	111
計		478	702

・ 専門家派遣事業 (単位：社、回)

項目	年度	派遣企業数		派遣回数	
		20	21	20	21
経営革新計画		7	13	28	65
地域資源活用		4	1	28	10
農商工連携		4	3	26	18
新連携計画		0	1	0	5
知的資産経営		0	2	0	15
販路開拓・拡大		0	4	0	22
計		15	24	82	135

・ 支援結果 (単位：件)

項目	年度	20	21
経営革新計画の承認		11	11
地域資源活用事業計画の認定		5	6
農商工等連携事業計画の認定		2	2
新連携計画の認定		0	1
計		18	20

④ 中小企業応援センター事業

ア 中小企業支援機関の経営支援を補完・強化するため、その後方支援機関として当機構内に『中小企業応援センター』を設置し、コーディネーターが中心となって中小企業の ・新事業展開 ・創業、事業再生及び再チャレンジ ・事業承継 ・ものづくり支援 ・新たな経営手法への取組みなど高度・専門的な課題に対し支援等を実施。

イ 事業の推移

・ 相談事業 (単位: 件)

項目	年度	22
経営革新計画		1,038
地域資源活用		167
農商工連携		148
新連携計画		10
知的資産経営		359
創業支援		261
事業再生		217
I T活用		78
事業承継		62
ものづくり		54
計		2,394

・ 専門家派遣事業 (単位: 社、回)

項目	年度	企業数	回数
		22	22
経営革新計画		63	274
地域資源活用		8	40
農商工連携		7	33
新連携計画		1	5
知的資産経営		22	160
創業支援		15	53
事業再生		7	29
I T活用		5	21
事業承継		6	20
ものづくり		1	4
課題対応型相談窓口に係る専門家対応		相談会場で実施	101
計		135	740

・ 支援機関共同セミナー開催事業(単位:回、人)

項目	年度	22
開催回数		29
参加者数		728

⑤ 独自技術育成専門家派遣助成事業

ア 全国に誇る固有の技術を1社・1技術として保有できるよう、専門的な技術アドバイザーから長期にわたり指導を受ける経費を助成。

イ 事業の推移

(単位: 件、千円)

項目	年度	15	16	17	18	19
助成件数		1	3	2	2	1
助成金額		720	2,460	853	900	810

⑥ 受発注取引情報収集提供事業

ア 中小企業の受注機会の増大を図るため、企業訪問による受発注情報、製品情報等の収集提供を積極的に行うとともに、広域かつ効率的な受発注取引あっせんを推進。

イ 事業の推移

・ 受発注取引のあっせん

(単位: 件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
発注申し出件数		52	105	122	141	99	137	93	82	75	147
受注申し出件数		69	116	74	57	72	79	124	148	320	155
あっせん紹介件数		265	556	613	645	470	681	754	834	740	796
成立件数		82	58	84	89	82	72	47	38	47	52
不成立件数		209	328	397	627	541	172	932	410	876	628
契約成立当初受注金額		90,697	119,983	91,374	248,695	232,718	191,534	502,123	139,107	426,180	65,027

・ 発注開拓促進事業

(単位: 回、社、件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
外注計画調査・発注ニーズ調査	回数	2	5	6	4	5	4	3	4	4	3
	延べ対象	1,800	3,403	4,369	2,698	1,800	2,145	1,914	2,698	3,281	2,363
広域あっせん(紹介件数)		210	460	424	496	385	589	684	534	715	735
発注開拓企業(延べ数)		234	416	268	267	241	279	229	182	153	191

⑦ 商談会等開催事業

ア 販路の拡大や取引先の開拓を図るため、広域商談会の開催や地域見本市出展企業の支援により、取引先の多角化、経営の自立化を支援。

イ 事業の推移

・ 広域商談会

(単位：回、社、件、百万円)

項目 \ 年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
商談会開催数	1	2	2	3	2	3	3	3	4	4
開催場所	東京	東京大阪	東京大阪	東京大阪名古屋	東京名古屋	東京大阪名古屋	東京大阪名古屋	神奈川大阪名古屋	神奈川大阪名古屋×2	東京×2大阪名古屋
発注企業	15	35	37	51	38	73	74	88	77	90
受注企業	44	89	56	82	65	105	150	172	193	158
商談件数	144	261	178	315	252	476	632	740	724	694
成立件数	7	11	5	18	21	22	24	31	45	47
当初成立金額	20	59	13	182	84	98.3	427	292	55	51.4

・ 地域見本市等出展支援事業

(単位：社、千円)

項目 \ 年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21
出展見本市	①、②	③、④	②、⑤	④、⑤	②、⑤	④、⑤	②、⑤	④、⑤、⑥	⑤、⑦、⑧
助成企業数	13	6	12	6	12	5	12	6	8
助成金額	1,549	1,747	1,459	1,439	1,450	1,250	1,393	1,252	1,500

①テクノピア名古屋、②とやまテクノフェア、③ものづくりワールド名古屋、④東京国際包装展、⑤NEW環境展、

⑥MEX金沢、⑦中小企業総合展、⑧メカトロテックジャパン

注 平成22年度から「販路開拓総合助成事業」に統合

⑧ ビジネスインキュベーション推進事業

ア 県内インキュベート施設に入居する事業者に対し、新技術の事業化や販路開拓等の経営課題について指導・助言を行うため、インキュベーションマネージャーを設置し訪問活動を実施。

イ ふるさと雇用再生事業を活用し、県内のインキュベート施設入居企業の持つ経営課題等について、適切な指導・助言を行うため、インキュベーションマネージャー設置事業のインキュベーションマネージャーと連携をとりながら販路開拓等の事業活動を支援するためのインキュベーションマネージャーを平成21年度から配置。

ウ 事業の推移

(単位：件)

項目 \ 年度	15	16	17	18	19	20	21	22
巡回訪問件数(IM協議会)	168	659	680	740	700	700	828	815
巡回訪問件数(IMふるさと雇用)							141	154

⑨ 創造的中小企業創出支援事業

ア 間接投資事業により特定ベンチャーキャピタルが引き受けた、中小企業が発行した社債の70%について、債務保証を継続して実施。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目 \ 年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金額	90,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0
償還額	0	78,000	0	0	0	65,000	30,000	90,000	50,000	0
投資残高	263,000	235,000	235,000	235,000	235,000	170,000	140,000	50,000	0	0
保証残高	149,100	164,500	164,500	164,500	164,500	119,000	98,000	35,000	24,500	24,500

⑩ 中小企業再生支援協議会事業

ア 中小企業の再生に関わる相談を受け、問題解決に向けた適切なアドバイスを実施するとともに、相談案件のうち再生のために財務や事業の抜本的な見直しが必要な企業について、中小企業診断士、公認会計士、弁護士等の専門家で編成される支援チームにより、財務面・事業面について調査等を行い、金融機関との調整を図りながら再生計画の策定支援を実施。

イ 事業の推移 (単位：社、件)

項目	年度	15	16	17	18	19	20	21	22
相談先数		42	61	78	55	58	83	117	85
相談件数		220	326	393	404	405	411	447	203

⑪ 中小企業外国出願助成事業

ア 県内の中小企業が外国へ特許出願する場合、その出願経費の一部を助成。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	21	22
助成件数		2	0
助成金額		1,546	0

⑫ デザイン振興事業

ア 県内産業のデザイン開発力等の向上や普及啓発を図るため、デザイン開発支援事業、市場開拓・流通支援事業、デザイン人材育成・交流支援・情報発信事業を実施。

イ 事業の推移 (単位：千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20
事業費		21,326	20,359	17,534	14,593	10,855	9,102	9,125	9,514

(2) 起業家の育成・ベンチャー企業等支援の実施状況

① とやま起業未来塾事業

ア 富山県の産業を活性化させ、活力ある県づくりを進めるため、新分野の起業を目指す若者、女性、熟年者などを支援する「とやま起業未来塾」を開設し、「夢」・「情熱」・「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成。

イ 事業の推移 (単位：人)

項目	年度	17	18	19	20	21	22	備考
入塾者数		39	33	31	32	39	32	
コース別修了者数	ものづくりコース	5	/	/	/	/	/	
	商業サービス業コース	6	/	/	/	/	/	
	ITビジネスコース	5	/	/	/	/	/	
	後継者・幹部候補生コース	10	/	/	/	/	/	
	創業支援コース・ベンチャーグループ	/	4	11	17	22	18	平成19年度に創業支援の2コースを「創業コース」に、「経営革新コース」を「新分野進出コース」に、平成20年度からこれらのコースを「創業・新分野進出コース」として実施
	創業支援コース・SOHOグループ	/	6					
	経営革新コース	/	7	5				
	コミュニティビジネスコース	8	5	5	5	8	6	
地域づくりリーダー養成コース	/	8	8	7	7	8		
計		34	30	29	29	37	32	
起業者数		19	15	13	13	18	16	

② 起業家の育成事業

ア 県内の高校生・大学生・若者などを対象に、起業家の講演、経営者講演、県内企業見学会などを行うことにより、起業家精神を涵養し、起業家のすそ野を広げるため実施。

イ 事業の推移 (単位：校、件、人、社)

項目		年度	17	18	19	20	21	22
起業家講演 (起業家招聘 事業)	実施学校数		6	6	9	5	8	7
	講演件数		6	6	9	5	8	8
	参加者数		408	483	445	232	867	716
企業経営者講演	講演件数						3	1
	参加者数						129	48
企業見学会	実施学校数		6	5	5	4	3	
	見学先企業数		6	5	5	4	5	
	参加者数		138	94	118	91	94	
経営者の1日 かばん持ち	実施学校数		7	5	5	4	1	
	招聘起業家数		9	9	5	4	1	
	参加者数		9	9	5	4	1	

③ とやまベンチャーマッチングフェア事業

ア ベンチャー企業の成長過程を支援するため、投資家、ビジネスパートナーとの「出会いの場」を提供。

イ 事業の推移 (単位：社、人)

項目	年度	17	18	19	20	21
ビジネスプラン発表者数		10	12	12	10	8
参加者数		184	167	495	268	202

注 平成19年度は、クラスターフォーラムと併催のため、合計人数を計上

④ 創業・ベンチャースタートアップ支援事業（平成17年度～ 創業・ベンチャー挑戦応援事業）

ア 創業・ベンチャースタートアップ支援事業

自らの創業を伴うビジネスプランを募集・顕彰し、優秀賞に対して創業時の初期経費の一部を助成。

イ 創業・ベンチャー挑戦応援事業

ベンチャー企業を支援するため、県内で創業を予定する者、または創業後3年以内の中小企業者から事業計画を募集し、新規性・独自性のある事業に対して助成。

ウ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	15	16	17	18	19	20	21	22
助成件数		2	3	12	16	19	13	10	12
助成金額		3,000	6,847	14,712	18,216	18,213	14,120	10,637	12,308

(3) ファンド事業の実施状況

① 元気とやま中小企業総合支援ファンド事業

ア 元気とやまを創造する企業(県民に貢献する企業)に対し、その発行する株式や社債を引き受けることにより長期低利の資金を提供するとともに、コミュニティビジネスを行う者に対する融資(県制度融資「新産業・ベンチャー創出支援資金地域貢献型事業(コミュニティビジネス)支援枠」)に対して債務保証を実施。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目		年度		16	17	18	19	20	21	22
間接投資事業	件数			2	1	0	0	0	0	0
	投資金額			80,000	50,000	0	0	0	0	0
	債務保証額			56,000	35,000	0	0	0	0	0
直接投資事業	件数			0	0	0	0	0	0	0
	投資金額			0	0	0	0	0	0	0
	債務保証額			0	0	0	0	0	0	0
地域貢献型事業	件数			2	2	8	4	3	1	2
	債務保証額			19,600	22,400	63,700	32,760	10,080	1,820	12,215

② 地域活性化ベンチャーファンド支援事業

ア 未来のとやまの地域経済を担う可能性をもつ企業を支援するベンチャーファンドに出資し、ファンド組成の促進とベンチャー企業の円滑な資金調達を支援。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目		年度		21	22
出資実績	件数			1	0
	金額			5,000	0

③ とやま発新事業チャレンジ支援事業(平成21年度～とやま新事業創造基金 地域資源ファンド事業)

ア 富山ならではの地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用した、中小企業の新商品・新サービス開発、販路開拓等の取り組みを支援。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目		年度			
		19	20	21	22
助成件数		4	8	8	12
助成金額		18,000	33,780	38,340	46,219

④ とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド事業

ア 県内中小企業者と農林漁業者が連携して行う、新商品、新サービスの開発、販路開拓等の取り組みを支援。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目		年度	
		21	22
助成件数		10	8
助成金額		39,593	34,513

(4) 販路開拓支援・設備資金の貸付等の実施状況

① 販路発掘・事業化総合支援事業（平成18年度～販路発掘・事業化コーディネート事業）

ア 製品の販路拡大につなげるため、マーケティング調査や戦略的プランの策定など総合的に支援。

イ 事業の推移

(単位：社)

項目	年度	15	16	17	18	19	20	21
コーディネーターによる支援		5	5	7	4	3	4	4
アドバイザーによる拡販相談		17	20	10	17	12	12	8
展示会出展支援		30	21	18	11			

② 販路開拓マッチングコーディネート事業

ア 首都圏等で広いネットワークを持つマッチングコーディネーター等を活用して中小企業の販路開拓を支援。

イ 事業の推移

(単位：社)

項目	年度	22
支援企業数		22
支援の内訳	コーディネーター	13
	外部専門家	9

③ 販路開拓総合助成事業

ア 中小企業が実施する市場調査や国内外の見本市出展等販路開拓活動に幅広く助成。

イ 事業の推移 (単位：件、千円)

項目	年度	22
国内分販路開拓支援	助成件数	15
	助成金額	2,202
海外分販路開拓支援	助成件数	16
	助成金額	5,996

④ 設備資金貸付事業

ア 小規模企業者等設備導入資金助成法に基づき、小規模企業者等を対象に創業及び経営基盤の強化を図るために、新たに導入する必要があると認められる設備額の2分の1以内の資金を無利子で7年以内の期間で貸付。

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
件数		13	7	11	16	16	9	1	2	0	1
金額		132,230	99,120	101,280	243,770	139,950	134,350	8,000	46,560	0	20,000

⑤ 設備貸与事業

ア 小規模企業者の創業及び経営基盤の強化に必要な設備導入を促すため、設備貸与(割賦、リース)を実施。(平成18年度から新規の貸与は休止)

イ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17	18
割賦	件数	7	15	19	12	10	休止
	金額	103,225	248,854	334,188	162,317	96,926	
リース	件数	4	8	5	6	0	
	金額	44,889	81,730	76,146	138,825	0	
計	件数	11	23	24	18	10	
	金額	148,114	330,584	410,334	301,142	96,926	

(5) 情報化支援の実施状況

① 情報化支援事業

ア 企業の情報化に取り組む意欲のある地域の中小企業者に対し、各種データベースや文献の充実を図りながら情報を速やかに提供するとともに、インターネットを企業活動に積極的に導入し活用するための支援を実施。

イ 事業の推移

・ TONIOホームページの情報発信

(単位：件)

項目	年度	15	16	17	18	19	20	21	22
総ページビュー数		954,970	883,956	1,159,333	1,319,603	1,318,152	1,191,983	1,508,806	964,090
トップページビュー数		77,226	81,332	76,980	76,690	144,490	90,365	100,686	105,680

・ 産業情報等に関する図書・雑誌・新聞・ビデオの各年度別収集数

(単位：冊、種、紙、本)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
図書		463	456	497	368	311	251	223	85	97	106
雑誌		83	73	71	70	65	65	65	55	55	55
機関誌		179	166	131	131	97	97				
新聞		16	16	16	16	16	16	16	6	6	6
ビデオソフト・DVD		141	163	159	126	92	141	88	130	150	213

・ オリジナルデータベース「TODAY」の各年度別構築数、アクセス数

(単位：件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
新聞記事情報		4,474	3,706	2,928	3,213	2,312	2,246	1,879	2,031	1,867	
人材情報		1,257	1,282	1,281	1,263	955	914	770	726	360	231
文献情報		1,380	1,601	1,841	1,596	1,370	1,299	1,285	1,103	1,113	1,217
ビデオ情報		141	163	159	126	92	141	88	130	150	213
アクセス数		20,421	28,350	24,713	25,961	19,765	30,048	22,752	25,958	22,194	18,648

・ 窓口等情報提供等利用状況

(単位：件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
情報提供件数		827	1,296	1,381	1,375	812	1,021	793	770	739	844
分野別内訳	企業・機関情報	245	348	410	324	315	215	221	208	157	135
	人材情報	24	52	34	22	20	5	8	5	9	5
	業界・需要動向	51	126	109	284	73	96	56	57	43	44
	産業経済一般	226	341	336	164	11	3	7	11	8	5
	商圏情報	153	254	281	289	158	341	203	162	90	116
	その他	128	175	211	292	235	361	298	327	432	539
資料貸出		635	989	748	1,011	915	996	1,014	892	666	748
ビデオ貸出		1,835	2,489	2,545	3,094	2,704	3,379	3,167	2,974	2,881	2,844
計		3,297	4,774	4,674	5,480	4,431	5,396	4,974	4,636	4,286	4,436

・ TOYAMAインターネット活用研究会会員事業

(単位：社、回、人)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
会員数		179	164	163	169	184	162	158	153	132	128
セミナー・会員勉強会	開催数	3	3	3	4	7	8	7	10	12	11
	参加人数	140	133	180	229	309	206	312	301	223	205
WEB運営実践講座	開催数	5	6	5	5	12	11	9	14	13	12
	受講者数	81	83	77	102	167	144	142	194	185	234
情報交流会参加人数								36	36	24	23

・ TONIOサービス利用会員事業

(単位：社、人、回)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
会員数		159	144	137	134	129	123	121	118	109	111
情報交流会参加人数		33	23	22	21	28	32	36	31	29	21
研修会・講習 会等の開催	開催数						4	8	6	5	7
	受講者数						70	135	82	84	159

(6) 国際交流事業の実施状況

① 大邱テクノパーク交流事業

平成13年度から平成16年度までは、地域新産業創出総合支援事業の中で、平成17年度は国際交流事業として実施。

② イタリアデザイン交流支援事業

平成14年度から平成16年度までは、地域新産業創出総合支援事業の中で、平成17年度は国際交流事業として実施。

5 環日本海経済交流センターの動き

(1) 環日本海経済交流の実施状況

① 環日本海経済交流推進事業

ア 環日本海地域における貿易・投資等の経済交流を促進するため、ビジネス情報等を提供。

イ 事業の推移

(単位：回、部、人)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
環日本海経済ジ ャーナルの発行	発行回数	6	6	4	4	2	4	4
	1回の発行部数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
貿易・投資セミ ナーの開催	開催回数	6	7	6	6	2	6	3
	参加者数	485	353	358	278	90	331	197

② 環日本海経済情報ネットワーク事業

ア 国内の経済情報機関や対岸諸国の地方政府機関と提携して、環日本海地域の貿易や投資環境等の経済情報を入手し、インターネット等を通じ提供。

イ 事業の推移

(単位：件)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
ホームページアクセス数		26,455	30,239	25,139	19,133	20,601	17,397	32,137
メールマガジン配信件数				158	171	170	200	223

(2) 貿易投資コンサルティングの実施状況

① 貿易投資コンサルティング事業

ア 環日本海地域や貿易等に関する専門知識を有するアドバイザーを配置し、企業からの相談に応じるとともに、企業等からの要請に対してセミナー講師を派遣。

イ 事業の推移

(単位：件)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
コンサルティング件数		85	98	128	133	108	100	123
セミナー等講師派遣件数		5	2	4	8	7	11	10
アドバイザー海外調査件数			2	2	1	3	4	4

② 貿易投資指導事業

ア 中国に関心のある県内企業等が業種を超えて集まり、意見や情報を交換し、中国に対する理解を深めることを目的とした勉強会「中国研究会」を開催。

イ 事業の推移

(単位：回、人)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
中国研究会	開催数	4	11	12	11	11	11
	参加者数	54	97	149	159	160	215

(3) 海外市場開拓の支援の実施状況

① 県内企業中国見本市出展支援事業（平成 22 年度～ 販路開拓総合助成事業（再掲・海外分））

ア 県内企業中国見本市出展支援事業

県内企業の海外販路拡大を図るため、中国(香港、台湾を含む)で開催される見本市への出展に対し助成。

イ 販路開拓総合助成事業（再掲・海外分）

中小企業が実施する市場調査や国内外の見本市出展等販路開拓活動に幅広く助成。

ウ 事業の推移

(単位：件、千円)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
助成件数		5	8	6	4	4	7	16
助成金額		558	665	990	400	582	743	5,996

② 経済交流ミッション派遣事業

ア ミッション団を中国各地域に派遣し、投資環境を視察するとともに、現地セミナーの開催や現地政府機関及び現地企業との交流を図る。

イ 事業の推移

(単位：社、人)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
参加企業・団体数		18	11	11	13		15	21
参加者数(事務局含む)		27	15	20	20		26	27

(4) 展示商談会の実施状況

① NEAR 展示商談会開催事業

ア 北東アジア地域との経済交流の活性化と県内企業のビジネス機会の拡大を図るため、当該地域の企業と県内企業が商談や情報交換を行う経済交流イベント「北東アジア経済交流 EXPO 展示商談会 (NEAR)」を平成 16 年度から隔年ごとに開催。

なお、平成 22 年度は、「富山県ものづくり総合見本市」の名のもとに、「NEAR 展示商談会」と県内ものづくり企業が一同に会する「とやまテクノフェア」を同時開催。

イ 事業の推移

(単位：社、件、万ドル、人)

項目	年度	16	17	18	19	20	21	22
出展企業・団体数		115		151		168		171
会期中商談件数		1,238		1,125		665		890
成約金額		1,659		3,882		1,979		3,328
来場者数		4,324		4,596		3,695		5,899

IV 富山県ものづくり研究開発センター開所記念講演録

富山県ものづくり研究開発センターのオープン及び財団法人富山県新世紀産業機構が開設 10 周年を迎えたことを記念し平成 23 年 6 月 8 日に実施した記念講演について、当財団において要約しました。

「産総研のオープンイノベーション ～ものづくりを中心として～」

独立行政法人産業技術総合研究所 理事長 野間口 有 氏

－ 富山県とのつながり －

私は三菱電機(株)で社長をしていた頃に富山県には何度も来たことがあります。製造業といいますか、機械産業的な特徴ある企業が、大変たくさん集まってる地域だなと思っております。

また、今、知的財産協会の会長もやっておりますが、これまで理事会は東京ばかりで開催しておりました。

でも、数年前、特徴のある地域に行ってやろうということになり、知的財産協会として最初の地方開催理事会を富山県の黒部で行いました。

その際に、富山県内の企業を見学させていただき、企業の方と「広い意味の知財戦略等日本企業は大変苦勞しており、きちっとした知財を押さえて世界と戦う」、あるいは「無法人が簡単に出てこないようなノウハウをはじめとした知財の確立の仕方というのをお互いに切磋琢磨しレベルを上げていこう」といった話し合いをしたのがつい最近のように思い出されます。

－ 産業技術総合研究所とは －

2001 年の行政改革の時に、経済産業省傘下の 15 の研究所と計量測定器関係の 1 教習所が、これから世界で頑張っていくためには、小さな研究所が個々に頑張っても太刀打ちできないということで、1 つに融合した総合研究所が誕生しました。

そして、環境、エネルギー、ライフサイエンス、情報通信、エレクトロニクス、ナノテク材料、標準計測、産業立地の基盤である地質を研究領域として設け、基礎的な研究だけでなく、本格研究として産業に役立つところまでやろうということでスタートしました。

－ 現在の研究ミッションー

現在の研究のミッションは 21 世紀型課題の解決とオープンイノベーションハブ機能の強化です。

ライフイノベーションやグリーンイノベーションのような新しい分野で新しい成果を出すとともに、その新しい成果が世の中にスムーズに普及していくような、規格とか安全の確認とか、そういったものを合わせてソリューションとして世に提案していくことを 21 世紀型の課題としております。



また、オープンイノベーションへの投資は私的な投資であれ公的な投資であれ、必ず新しい製品とかソリューションの創造にもつながりますし、逆に日本のイノベーション力を上げなければ、世界において地盤沈下がますます加速するのではないかと感じておりました、大学とか民間の皆さんと協力して、社会に役立つ成果が生まれるよう産総研がイノベーションの場を提供し、そこで産総研も腕を磨きいい成果になるように努力するという意味でオープンイノベーションハブ機能の強化としております。

－ 先端的なインフラや研究成果のオープン －

産総研には世界に2台しかない電子顕微鏡とかいろいろ新しい機材があります。

また、新しい技術が必要なので研修にこられるというニーズもあり、そこで使うような先端的な機材をオープンにして幅広く使っていただくことにしています。

また、成果のマネージメントですが、産総研は自らのもっている知財を公表、Web を介してご覧いただけるようにしており、これを見て、少し活用したいというような話がありましたら、それに対して協力するということでもあります。

－ サポートイング・インダストリーについて －

これは、技術をもった中小企業の力をつけようというもので、日本の競争力をしぶとく維持しているのは、ものづくりの中小企業であり、産総研では中小企業支援に力を入れております。

実をいうと提案できるかどうか自信がない、だけど私どもから見てそこで止めるのはもったいない、という相談は結構あります。



そういう時に、わずかですが産総研で交付金を用意し、スタートアップとして提案にもっていくまでのチャレンジをやってみるというのをやっております。

一例ですが、東京の計測器屋さんですばらしい計測器ができたのですが、これを国際標準に準拠するようにすれば、同じ結果でも国際標準の準拠の設計だといえますよ、ということで協力しまして今特徴ある事業になっております。

－ 結びにあたって －

最後になりますが、産総研、公設研、各大学、こういったところが総力をあげて連携し産業界のニーズに応じていくことで初めて日本の競争力は維持され、世界と戦っていける形ができるのだと思っています。そういった意味で我々は創造的な連携を最重視して取り組んで参りたいと思います。

今日、ものづくり研究センターと中央研究所を見せていただきましたが、私もアクティビティをよくわかりましたので、今後は私の方からもいろいろ具体的なアプローチをさせていただいて、よりよい連携ができるようにしていきたいと思っています。

皆さま方への期待も込めて、話をさせていただきました。ご静聴ありがとうございました。

V 歴代役員

1 理事会

平成23年12月1日現在

役職	氏名	就任日	退任日	就任時役職	役職	氏名	就任日	退任日	就任時役職						
理事長 (職務代理者)	中沖 豊	H13.4.1	～ H17.2.7	富山県知事	理事	植松哲太郎	H13.4.1	～ H15.5.31	富山県立大学工学部長						
	八嶋 健三	H17.2.7	～ H17.2.15	副理事長		田中 潔	H15.6.1	～ H19.5.31	富山県立大学工学部長						
	石井 隆一	H17.2.15	～ 現在	富山県知事		川越 誠	H19.6.1	～ H23.3.31	富山県立大学工学部長						
副理事長	八嶋 健三	H13.4.1	～ H19.11.19	(株)北陸銀行代表取締役会長		石塚 勝	H23.4.1	～ 現在	富山県立大学工学部長						
副理事長	犬島伸一郎	H19.11.29	～ 現在	富山県商工会議所連合会長	理事	田中 寿	H13.4.1	～ H15.7.31	(財)北陸経済研究所理事長						
副理事長	時澤 貢	H13.4.1	～ H14.5.31	富山大学長		中野 克彦	H15.8.1	～ H21.5.31	富山化学工業(株)代表取締役社長						
	西頭 徳三	H17.11.1	～ H23.3.31	富山大学長		菅田 益司	H21.6.1	～ 現在	富山化学工業(株)取締役代表執行役社長						
	遠藤 俊郎	H23.4.1	～ 現在	富山大学長	理事	豊國 浩治	H13.4.1	～ H14.8.28	富山県商工労働部長						
理事	高平 公嗣	H13.4.1	～ H14.11.28	富山県議会商工労働常任委員長		山本 勇宰	H14.8.29	～ H15.7.31	富山県商工労働部長						
	理事	正橋 正一	H13.4.1	～ H14.5.31		富山県市長会長	室谷 智明	H15.8.1	～ H17.4.30	富山県商工労働部長					
		森 雅志	H14.6.1	～ 現在		富山県市長会長	藤木 俊光	H17.6.1	～ H19.5.31	富山県商工労働部長					
理事	中齊 忠雄 石澤 義文 魚津 龍一 伊東 尚志	H13.4.1	～ H13.12.12	富山県町村会長	斉藤 俊明	H19.6.1	～ H21.3.31	富山県商工労働部長							
		H13.12.13	～ H15.7.31	富山県町村会長	柳野 隆之	H21.4.1	～ H22.8.30	富山県商工労働部長							
		H15.8.1	～ H22.5.31	富山県町村会長	戸高 秀史	H22.8.31	～ H23.3.31	富山県商工労働部長							
		H22.8.31	～ 現在	富山県町村会長	荒木 勝	H23.4.1	～ 現在	富山県商工労働部長							
理事	新木富士雄 永原 功 久和 進	H13.4.1	～ H17.7.20	北陸電力(株)代表取締役社長	理事	南日 康夫	H13.4.1	～ 現在	富山県工業技術センター所長						
		H17.7.21	～ H22.5.31	北陸電力(株)代表取締役社長		龍山 智榮	H14.6.1	～ H17.4.30	富山大学工学部長						
		H22.6.1	～ 現在	北陸電力(株)代表取締役社長	米田 政明	H17.5.1	～ H17.10.28	富山大学工学部長							
理事	吉田 忠裕	H13.4.1	～ 現在	YKK(株)代表取締役社長	理事	石澤 義文	H15.8.1	～ 現在	富山県商工会連合会長						
理事	荒井 久夫 川村 人志	H13.4.1	～ H16.5.31	三協アルミニウム工業(株)代表取締役会長	理事	植松哲太郎	H16.10.1	～ H20.5.31	当財団産学官連携推進センター長						
		H16.6.1	～ 現在	三協・立山ホールディングス(株)代表取締役会長		田中 潔	H20.6.1	～ 現在	当財団産学官連携推進センター長						
理事	中尾 哲雄	H13.4.1	～ 現在	(株)インテック代表取締役社長	理事	龍山 智榮	H21.4.1	～ 現在	当財団中小企業支援センター長						
理事	本多 正道 井村 健輔 本間 博夫	H13.4.1	～ H14.5.31	(株)不二越相談役	理事	藤野 文悟	H16.10.1	～ 現在	当財団環日本海経済交流センター長						
		H14.6.1	～ H22.5.31	(株)不二越代表取締役社長											
		H22.6.1	～ 現在	(株)不二越代表取締役社長											
理事	西田 東作 田中 一郎	H13.4.1	～ H14.5.31	富山県中小企業団体中央会長	専務理事	宮本 孝 池田 進	H13.4.1	～ H21.3.31	富山県理事						
		H14.6.1	～ 現在	富山県中小企業団体中央会長						H21.4.1	～ 現在	前富山県生活環境文化部長			
理事	高澤 規子 梅田ひろ美	H13.4.1	～ H22.8.30	富山県商工会議所婦人会連合会長	監事	澤合 敏博 塚原 鐵二 植出 耕一 寺林 敏 柳野 隆之	H13.4.1	～ H17.4.30	富山県出納長						
		H22.8.31	～ 現在	富山県商工会議所女性会連合会長						H17.5.1	～ H19.5.31	富山県出納長			
理事	坂井 尚子 夏野 麗子	H13.4.1	～ H15.5.31	富山県商工会女性部連合会長									H19.6.1	～ H21.3.31	富山県公営企業管理者
		H15.6.1	～ 現在	富山県商工会女性部連合会長											
理事	竹口 紀晃 渡邊 裕司	H13.4.1	～ H16.5.31	富山医科薬科大学薬学部長	監事	宮田 一平 長津 克司 竹上 讓二 村田 充洋 松田 昭博 馬嶋 章	H13.4.1	～ H14.5.31	(株)日本興業銀行富山支店長						
		H16.6.1	～ H17.10.28	富山医科薬科大学副学長						H14.6.1	～ H16.5.31	(株)みずほコーポレート銀行富山営業部長			
理事	水島 和夫	H13.4.1	～ H17.10.28	高岡短期大学副学長									H16.6.1	～ H18.5.31	(株)みずほコーポレート銀行富山営業部長
H20.6.1	～ H22.5.31	(株)みずほコーポレート銀行富山営業部長													
			H22.6.1	～ 現在	(株)みずほコーポレート銀行富山営業部長										

2 評議員会

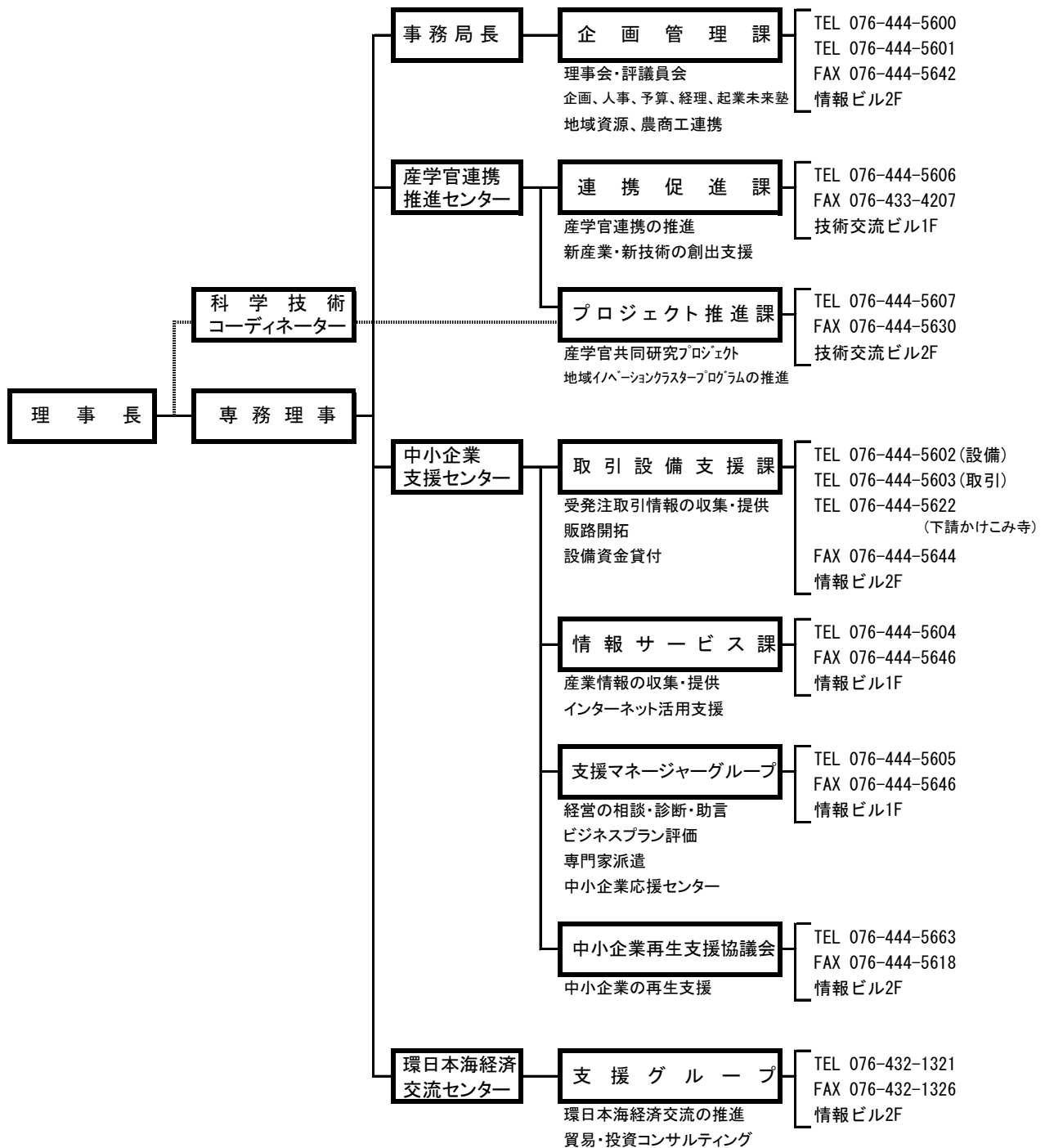
平成23年12月1日現在

役職	氏名	就任日	退任日	就任時役職	役職	氏名	就任日	退任日	就任時役職
評議員	竹田雄一郎	H13.4.1	～ H15.5.31	(社)富山県経営者協会副会長	評議員	渡辺 信安	H13.4.1	～ H17.5.31	富山県プラスチック工業会長
	武内 繁和	H15.6.1	～ 現在	(社)富山県経営者協会副会長		羽場 光明	H17.6.1	～ H19.10.1	富山県プラスチック工業会長
評議員	高木 正明	H13.4.1	～ H16.12.17	富山経済同友会常任幹事		笠井 千秋	H19.12.17	～ 現在	富山県プラスチック工業会長
	松原 吉隆	H17.4.25	～ H23.5.31	富山経済同友会常任幹事	評議員	野岸 勉	H13.4.1	～ H15.7.31	(社)富山県情報産業協会会長
	塩井 保彦	H23.6.1	～ 現在	富山経済同友会常任幹事		辰巳 昭	H15.8.1	～ H16.7.19	(社)富山県情報産業協会会長
評議員	大角 寛治	H13.4.1	～ H17.4.24	富山県中小企業団体中央会専務理事		高桑 幸一	H16.7.20	～ H19.5.31	(社)富山県情報産業協会会長
	太田廣二郎	H17.4.25	～ H23.3.31	富山県中小企業団体中央会参与		並木 誠	H19.6.1	～ H23.8.11	(社)富山県情報産業協会会長
	館 清文	H23.4.1	～ 現在	富山県中小企業団体中央会参与	評議員	高松 正	H23.8.12	～ 現在	(社)富山県情報産業協会会長
評議員	濱谷元一郎	H13.4.1	～ H19.12.16	富山県商工会議所連合会常任理事		中村 和昭	H13.4.1	～ H13.12.13	高岡市商店街連盟会長
	小室 修	H19.12.17	～ 現在	富山県商工会議所連合会常任理事		河合 晋	H13.12.14	～ H20.5.31	高岡市商店街連盟会長
評議員	土居 忠	H13.4.1	～ H15.7.31	富山県商工会連合会専務理事		酒井 敏行	H20.6.1	～ 現在	高岡市商店街連盟会長
	山本 勇宰	H15.8.1	～ 現在	富山県商工会連合会専務理事	評議員	山崎佐和子	H13.4.1	～ H14.5.31	(協)中央通商栄会さんぼーろマRSUN会長
評議員	松井 幹夫	H13.4.1	～ H14.5.31	富山市商工労働部長		武内紅荷子	H14.6.1	～ 現在	(協)中央通商栄会さんぼーろマRSUN会長
	中川 泰三	H14.6.1	～ H15.5.31	富山市商工労働部長	評議員	猪村 光裕	H13.4.1	～ H15.5.31	商工組合中央金庫富山支店長
	永森 勲	H15.6.1	～ H17.4.24	富山市商工労働部長		上部 昌之	H15.6.1	～ H17.4.24	商工組合中央金庫富山支店長
	老月 邦夫	H17.4.25	～ H18.5.31	富山市商工労働部長		大野 晃一	H17.4.25	～ H19.5.31	商工組合中央金庫富山支店長
	坂井 保樹	H18.6.1	～ H22.3.31	富山市商工労働部長		倉知 宗範	H19.6.1	～ H21.5.31	商工組合中央金庫富山支店長
	中村 茂信	H22.4.1	～ 現在	富山市商工労働部長		佐藤 哲哉	H21.6.1	～ H23.5.31	㈱商工組合中央金庫富山支店長
評議員	野村 一郎	H13.4.1	～ H16.5.31	高岡市商工労働部長		藤井 和成	H23.6.1	～ 現在	㈱商工組合中央金庫富山支店長
	荻原 隆夫	H16.6.1	～ H17.4.24	高岡市商工労働部長	評議員	村田 隆夫	H13.4.1	～ H15.10.15	富山県信用保証協会専務理事
	高木 達郎	H17.4.25	～ H19.5.31	高岡市産業振興部長		塚 武夫	H15.10.16	～ H17.7.20	富山県信用保証協会専務理事
	荻原 隆夫	H19.6.1	～ H20.5.31	高岡市産業振興部長		後谷 清文	H17.7.21	～ 現在	富山県信用保証協会専務理事
	西淵 一郎	H20.6.1	～ H23.3.31	高岡市産業振興部長	評議員	発田 悦造	H13.4.1	～ H15.5.31	㈱富山県総合情報センター専務取締役
	坂下 照夫	H23.4.1	～ 現在	高岡市産業振興部長		山本 賢治	H15.6.1	～ H19.5.31	㈱富山県総合情報センター代表取締役常務
評議員	荒木 照雄	H13.4.1	～ H14.8.29	富山県町村会常務理事		見崎 透	H19.6.1	～ H23.3.31	㈱富山県総合情報センター参事
	奥田 紀元	H14.8.30	～ H16.7.19	富山県町村会常務理事		本江 定次	H23.4.1	～ 現在	㈱富山県総合情報センター参事
	中谷 正虎	H16.7.20	～ H20.5.31	富山県町村会常務理事	評議員	阿部 重一	H13.4.1	～ H14.8.29	富山県理事・厚生部次長
	酒井 三郎	H20.6.1	～ 現在	富山県町村会常務理事		守護 実	H14.8.30	～ H15.10.15	富山県厚生部次長
評議員	水口昭一郎	H13.4.1	～ H15.5.31	(社)富山県電子電機工業会長		鎌仲 博	H15.10.16	～ H17.4.24	富山県厚生部次長
	飴 久晴	H15.6.1	～ H23.5.31	(社)富山県電子電機工業会長		椎葉 茂樹	H17.4.25	～ H19.5.31	富山県理事・厚生部次長
	野村 正也	H23.6.1	～ 現在	(社)富山県機電工業会長		奥田 達夫	H19.6.1	～ H21.5.31	富山県厚生部次長
評議員	黒田 義正	H13.4.1	～ H14.5.31	富山県化学工業会長		荒木 勝	H21.6.1	～ H22.3.31	富山県理事・厚生部次長
	米澤 宏二	H14.6.1	～ H16.5.31	富山県化学工業会長		小林 明夫	H22.4.1	～ 現在	富山県厚生部次長
	平下 裕治	H16.6.1	～ H18.5.31	富山県化学工業会長	評議員	室谷 智明	H13.4.1	～ H14.8.29	富山県商工労働部次長
	岡田 誠一	H18.6.1	～ H19.7.20	富山県化学工業会長		大原 隆司	H14.8.30	～ H17.3.28	富山県商工労働部次長
	梅澤 佳男	H19.7.21	～ H20.8.25	富山県化学工業会長		斉藤 俊明	H17.4.25	～ H18.5.31	富山県商工労働部次長
	下妻誠一郎	H20.8.26	～ H22.8.31	富山県化学工業会長		池田 進	H18.6.1	～ H20.8.25	富山県商工労働部次長
	岡田 照美	H22.9.1	～ 現在	富山県化学工業会長		戸高 秀史	H20.8.26	～ H21.10.18	富山県理事・商工労働部次長
評議員	松原 豊	H13.4.1	～ H18.8.21	富山県鉄鋼金属工業会長		増川 茂則	H21.10.19	～ H22.3.31	富山県商工労働部次長
	竹平栄太郎	H18.8.22	～ H23.5.31	(社)高岡アルミニウム懇話会長		日吉 敏幸	H22.4.1	～ H23.3.31	富山県商工労働部次長
	島 勲	H23.6.1	～ 現在	(社)高岡アルミニウム懇話会長		上田 順子	H23.4.1	～ H23.8.11	富山県商工労働部次長
評議員	杉野 博	H13.4.1	～ H15.5.31	(社)富山県機械工業会副会長	評議員	佐野究一郎	H23.8.12	～ 現在	富山県理事・商工労働部次長
	杉野 芳宏	H15.6.1	～ H17.7.21	(社)富山県機械工業会副会長		森 政雄	H19.6.1	～ 現在	富山県薬業連合会長

VI 参考資料

1 事務局組織

平成23年 3月31日現在



所在地

[情報ビル] 〒930-0866 富山市高田527番地

[技術交流ビル] 〒930-0866 富山市高田529番地

URL <http://www.tonio.or.jp/>

2 中小企業支援事例集(財団法人富山県新世紀産業機構発行)掲載企業一覧

平成 14 年 3 月発行		平成 15 年 3 月発行		平成 16 年 3 月発行	
石崎産業(株)	センダン電子(株)	ライフケア技研(株)	(株)オーフェン機器		
魚岸精機工業(株)	高野精密工業(株)	城西ニット(有)	三陽陸運(株)		
(株)オフィスオオイ	(有)田中興産	戸出物産(株)	志貴野メッキ(株)		
キマド(株)	氷見観光宿泊施設研究会	(株)ティーアンドティー・タカマツタテグ	千寿荘		
シバタシシュウ工芸	北陸テクノ(株)	(有)メイワ・エンタープライズ	(有)タイヤリサイクルセンター		
ジャパンバック(株)	(有)ほそいりデンティワン	成和興産(株)	とっぺ屋本舗		
(有)住宅断熱技術研究所	山口和紙工房	(有)エコバランステクノ	フジコン(株)		
(有)スズルネス	(有)ライル	金型設計・製作コア	マルイチ水産		
セト電子工業(株)	(有)ユメック	(株)グドウ	山田工業(株)		
(株)善衛門産業	(株)米田	(株)中川製作所	(株)レスター		
平成 17 年 3 月発行		平成 18 年 3 月発行		平成 19 年 3 月発行	
(株)安達工業	(有)アイ・カンパニー	(株)エヌエスプレーン	越中寿し本舗おかだや		
新光硝子工業(株)	(株)アイ・ケー 技工	(株)桜井工業	(株)上久		
(有)鈴香食品	(株)奥田庄太郎商店	(株)サンライズ21	(有)五万石		
(株)生産技術	(株)新湊観光船	(有)シザーズジャパン	(株)T・M・C		
(株)ティー・イー・ディー	東洋ゼンマイ(株)	(株)伸栄製作所	(株)富山サンダーバースベースボールクラブ		
中善工業(株)	トミ・ダン(株)	(株)ゼフィール	(株)ニッセイテクニカ		
(有)苗加製作所	(株)トヨックス	(株)電陽社	日本オリゴ(株)		
(株)北陸製版センター	(株)フレイム・システム	(株)初芝	(株)ボラリス		
丸和ケミカル(株)	ホクセイポロダクツ(株)	(株)ピア	山口アルク(株)		
露天風呂の宿フィール宇奈月	(有)豊フーズ	ミュキ化成(株)	(株)横山製作所		
平成 21 年 3 月発行		平成 22 年 3 月発行		平成 23 年 3 月発行	
アイオティカーボン(株)	(株)魚津システム	(株)アイベック			
(有)荒木商会	三芝硝材(株)	アジヤンタSpice			
(株)カタール富山	シラホフーズ(株)	合同会社うなづき商店			
三和食品(株)	マルカサフーズ(有)	(株)エムダイヤ			
長江屋豆腐店	(株)ミヤモリ	(有)倉谷アルミ工作所			
(株)能作	明治薬品(株)	(有)タケオカ自動車工芸			
(株)初芝	(株)リハ・システムウェイ	沼田製粉(株)			
(有)ほくりく技創	(株)ロンウッド	(株)ユーキフーズ			
(株)マツノ					
(株)ランプール					

3 各年度事業報告書から見る主な行事等の実績

平成 13 年度

産業支援機関連携促進会議

平成 13 年 6 月 13 日 行政、公設試験研究機関、商工団体等中小企業支援関係機関との連携を図るため、連携促進会議を開催。

経営セミナー

平成 14 年 3 月 6 日 情報ビル 3 階大研修室 80 名 テーマ「小売業 21 世紀の生き残り策」

商品化・事業化支援交流会

平成 13 年 12 月 (2 日間) 中小企業の自社製品や固有の技術について、商品化・事業化を進めるためプレゼンテーションを行い、県内外の委員によってアドバイス、仲介を実施。(9 社参加)

とやまベンチャービジネススクール

ベンチャー創業に対する認識、意欲を深めるとともに、従来接点のなかった職種の人的ネットワークの構築を図るため開催。
平成 13 年 7 月 31 日 ~ 平成 14 年 3 月 5 日 28 名

新商品・新分野進出実践道場

自社の経営力や市場の分析等を行い、戦略的な計画立案を疑似体験する事によって確かなビジネスイメージを把握する 2 日間のビジネスプラン作成研修を実施。平成 14 年 3 月 1 日 ~ 3 月 2 日 (2 日間) インテック大山研修センター 49 名

新技術講演会 (RSP講演会)

新しい技術の紹介、産学官連携への取り込み、事例など本県の科学技術振興を目的とした新技術講演会を開催。
平成 13 年 5 月 13 日 とやま自遊館 169 名 テーマ「新世紀に求められる創造性」

新技術フォーラム (RSPフォーラム)

平成 13 年 12 月 7 日 富山国際会議場 394 名 テーマ「人と機械をあつかう心 とやまの心が生み出す新技術」

海外出張調査

平成 13 年 7 月 大邱広域市を訪問し、(財)大邱テクノパークとの交流協定締結のための事前協議やベンチャー企業の訪問等を実施。

交流協定書の調印

平成 13 年 11 月 27 日 本県に大邱広域市友好代表団(10 名)を迎え、(財)富山県新世紀産業機構と(財)大邱テクノパークとの交流協定調印式を実施。

ベンチャープラザとやま

ベンチャー企業の成長過程を支援するため、必要とする経営資源である投資家、ビジネスパートナーとの「出会いのプロセス」を提供するとともに、ベンチャー企業に対し、事業資金の確保や技術開発、経営ノウハウ等新たな経営資源の調達方法を提示して、新たな産業の活性化と雇用機会の創出を図るため開催。平成14年2月8日 富山全日空ホテル 170名

広域商談会

東京都内において商談会を開催し、当機構が招へいた県外発注企業の提示する具体的な発注内容や取引条件等に対して、県内受注企業との個別商談の場を設定。平成13年9月6日 商談件数延べ144件

中小企業情報化講演会

平成13年11月15日 情報ビル3階大研修室 126名 テーマ「我が国におけるeコマースの動向と課題」

県立大学研究交流会

県内産学官交流を促進するため、県内の企業・公設試験研究機関の技術者、研究者と富山県立大学の教員が一堂に集まり、研究交流会を開催。平成13年9月25日 富山県立大学 200名

富山大学経営者・研究者交流会

第13回経営者・研究者交流会開催(富山大学地域共同研究センター共催)県内の大学、公設試験研究機関と民間企業の経営者・研究者との定例の産学官交流会を開催。平成13年10月31日 富山大学工学部 436名

平成14年度

地域中小企業支援センターとの連絡会議

平成14年4月26日 県内地域中小企業支援センターとの連携のあり方について協議する連絡会議を開催。

経営セミナー

平成14年11月15日 とやま自遊館ホール 180名 テーマ「プロジェクトX ～私の出会った挑戦者たち」

経営革新セミナー

平成15年2月27日 福野町アミューホール 65名 テーマ「イノベーションシステムを問う」

とやま医薬バイオフォーラム

知的クラスター創成に向けての産学官研究の活性化とニュービジネス誕生の機運醸成を目的とし、医薬・バイオ・エレクトロニクス分野における最先端の技術動向にふれるため開催。平成15年2月6日 名鉄トヤマホテル 143名 テーマ「世界へ発信する富山の医薬バイオ」

第2回韓国ベンチャー産業展への参加

平成14年5月に大邱広域市で開催された第2回韓国ベンチャー産業展(KOVEX2002)において、富山県、(財)富山県新世紀産業機構及び本県産業(特に要望のあった深層水事業を中心として)を紹介するためのブース展示等を実施。(5名派遣(うち企業1社))

第6回アジア・サイエンス・パーク会議及びベンチャー・ビジネス・フェア2002への参加

平成14年11月に大邱広域市で日本、韓国、中国、台湾などが参加して開催された第6回アジア・サイエンス・パーク会議(ASP2002)において、富山県及び(財)富山県新世紀産業機構を紹介するためのプレゼンテーションなどを実施。(財)大邱テクノパークや支援ベンチャー企業の視察等を実施。(16名派遣(うち企業10社))

ベンチャー・ビジネス・フェア2002ブース展示

ASP2002と同時に開催されたベンチャー・ビジネス・フェア2002(ASP VENTURE BUSINESS FAIR 2002)において、県内企業を紹介するためのブース展示等を実施。(展示企業3社)

講演会「韓国ベンチャー事情」

平成15年3月6日 大邱広域市のベンチャー企業代表者等を講師に招いて、(財)大邱テクノパークにおける創業支援体制やベンチャー創業の現状を紹介するための講演会を開催。(来県者4名)

ベンチャープラザとやま

ベンチャー企業の成長過程を支援するため、必要とする経営資源である投資家、ビジネスパートナーとの「出会いのプロセス」を提供するとともに、ベンチャー企業に対し、事業資金の確保や技術開発、経営ノウハウ等新たな経営資源の調達方法を提示して、新たな産業の活性化と雇用機会の創出を図るため開催。平成15年2月14日 オークスカナルパークホテル富山 213名

広域商談会

東京と大阪において県外発注企業と県内受注企業の個別商談会を実施。平成14年7月25日:東京 平成14年11月7日:大阪 商談件数延べ261件

新商品・新分野進出実践道場

自社の経営力や市場の分析等を行い、戦略的な計画立案を擬体体験する事によって確かなビジネスイメージを把握する2日間のビジネスプラン作成研修を実施。平成15年2月28日～3月1日(2日間) インテック大山研修センター 26名

とやま産学官交流会

県内の産学官の交流を促進するため、県内の産学官の経営者、研究者・技術者が一堂に集まり、研究交流会を開催。平成14年9月25日 富山県立大学 220名

とやまベンチャー起業化スクール

ベンチャー創業に対する認識、意欲を深めるとともに、従来接点のなかった職種的人的ネットワークの構築を図るため開催。平成14年7月30日～平成15年3月6日 24名

地域求職活動援助事業

県民に広く雇用・産業関連の話題や情報を提供し、新分野展開など事業意欲の向上、職業意識の醸成や啓発の促進、雇用の安定・確保等を図るため実施。県内全てのCATVエリアで、30分番組を週に1本(6ヶ月20本)、毎日放送。

平成15年度

地域中小企業支援センターとの連絡会議

平成15年4月25日、平成15年9月3日、平成16年2月4日 県内地域中小企業支援センターとの連携のあり方について協議する連絡会議を3回開催。

経営セミナー

平成15年11月6日 とやま自遊館 126名 テーマ「吉本流経営戦略 ～人を見つめる、人を活かす、人を育てる～」

経営革新セミナー

平成16年3月5日 とやま自遊館 107名 テーマ「今、行動改革の時～経営革新は社長の自己改革から～」

大邱テクノパーク国際交流支援事業

平成15年8月5日～9日 漢方関係調査を実施
平成15年10月2日～5日 とやまテクノフェア2003に韓国企業が出展
平成15年10月16日～18日 第3回韓国ベンチャー産業展に県内企業3社が出展

とやま医薬バイオフォーラム

知的クラスター創成に向けての産学官共同研究の活性化とニュービジネス誕生の機運醸成を目的に開催。
平成 15 年 6 月 6 日 名鉄トヤマホテル 280 名 テーマ「明日の富山はバイオで変わる」

とやま医薬バイオ合同成果発表会

平成 16 年 2 月 27 日 名鉄トヤマホテル 249 名

富山バイオ賢人会議

平成 16 年 3 月 9 日 名鉄トヤマホテル 医薬バイオクラスター関係者

第 3 回韓国ベンチャー産業展への出展

平成 15 年 10 月に大邱広域市で開催された第 3 回韓国ベンチャー産業展(KOVEX2003)において、県内企業を紹介するためのブース展示等を実施。(6 名派遣、展示企業 3 社)

とやまテクノフェア 2003 への出展の受入

平成 15 年 10 月に富山市で開催されたとやまテクノフェア 2003 において、大邱広域市及び大邱テクノパーク並びに大邱広域市内企業を紹介するためのブース展示等を実施。(来県者 7 名、展示企業 2 社)

大邱広域市地域における漢方関係調査団の派遣

大邱テクノパークから提案のあった大邱広域市の漢方バイオバレー造成計画などの調査のため、平成 15 年 8 月に富山医科薬科大学和漢薬研究所の渡邊所長を団長とする漢方関係調査団を派遣。(10 名派遣、うち県内企業から 2 名)

ベンチャープラザとやま

ベンチャー企業の成長過程を支援するため、投資家、ビジネスパートナーとの「出会いの場」を提供するとともに、事業資金の確保や技術開発、経営ノウハウ等新たな経営資源の調達方法を提示し、新たな産業の活性化と雇用機会の創出を図るため開催。
平成 16 年 2 月 10 日 オークスカナルパークホテル富山 201 名

広域商談会

東京、大阪において県外発注企業と県内受注企業の個別商談会を実施。
平成 16 年 7 月 8 日:東京 平成 16 年 10 月 23 日:大阪 商談件数延べ 178 件

とやま産学官交流会

県内の産学官の交流を促進するため、県内の産学官の経営者、研究者・技術者が一堂に集まり、研究交流会を開催。
平成 15 年 11 月 11 日 富山国際会議場 307 名

とやまベンチャービジネススクール

ベンチャー創業に対する認識、意欲を深めるとともに、従来接点のなかった職種間の人的ネットワークの構築を図るため開催。
平成 15 年 8 月 20 日 ~ 平成 16 年 2 月 10 日 21 名

地域求職活動援助事業

県民に広く雇用・産業関連の話題や情報を提供し、新分野展開など事業意欲の向上、職業意識の醸成や啓発の促進、雇用の安定・確保等を図るため実施。CATV番組の制作・放映 制作本数 20 本(30 分番組) 放送期間 10 月~3 月

平成 16 年度

地域中小企業支援センターとの連絡会議

平成 16 年 5 月 21 日、平成 16 年 10 月 18 日、平成 17 年 3 月 18 日 3 回開催

経営革新セミナー

平成 16 年 11 月 24 日 とやま自遊館 98 名 テーマ「まいど1号宇宙へ!“メイド・イン東大阪”の人工衛星にかける夢」

経営セミナー

平成 17 年 3 月 1 日 とやま自遊館 209 名 テーマ「IT革命の根っ子には商売革命あり実例で解き明かす「ITで儲ける方法」

第 5 回北陸・韓国経済交流会議に参加

平成 16 年 5 月 26 日 ~ 5 月 28 日

第 1 回あつまらんまいけインキュ

平成 17 年 3 月 1 日 とやま自遊館 35 名

とやま医薬バイオフォーラム

平成 16 年 6 月 28 日 名鉄トヤマホテル 218 名 テーマ「新世紀にはばたくバイオ産業」

北陸地域クラスターフォーラム

平成 17 年 2 月 17 日 石川県地場産業振興センター 249 名 講演「先端のデザイン」

富山バイオ賢人会議

平成 17 年 3 月 23 日 名鉄トヤマホテル 医薬バイオクラスター関係者

ベンチャープラザとやま

ベンチャー企業の成長過程を支援するため、投資家、ビジネスパートナーとの「出会いの場」を提供するとともに、事業資金の確保や技術開発、経営ノウハウ等新たな経営資源の調達方法を提示し、新たな産業の活性化と雇用機会の創出を図るため開催。
平成 17 年 2 月 10 日 オークスカナルパークホテル富山 ビジネスプラン発表者 8 社 商談件数 56 件 217 名

広域商談会

平成 16 年 6 月 22 日:名古屋 平成 16 年 9 月 8 日:東京 平成 16 年 11 月 25 日:大阪 商談件数延べ 315 件

とやま産学官交流会

県内の産学官の交流を促進するため、県内の産学官の経営者、研究者・技術者が一堂に集まり、研究交流会を開催。
平成 16 年 11 月 11 日 富山国際会議場 317 名

地域求職活動援助事業

県民に広く雇用・産業関連の話題や情報を提供し、新分野展開など事業意欲の向上、職業意識の醸成や啓発の促進、雇用の安定・確保等を図るため実施。制作本数 12 本(30 分番組) 放送期間 10 月~12 月

県内企業中国商談ミッション派遣事業

県内産業の中国でのビジネス展開を促進するため、県内企業等で構成する経済交流ミッションを派遣。
平成 17 年 3 月 5 日~9 日 中国・大連市および青島市 参加者数 18 企業等 27 名

NEAR2004・中国

平成 16 年 9 月 7 日~8 日 富山産業展示館(テクノホール) 中国企業等 91 社・団体(うち企業 75 社、団体・政府機関 16 団体) 日本企業等 24 社・団体(うち企業 7 社、団体・政府機関 17 団体)

平成 17 年度

筑波研究学園都市研究交流事業

筑波研究学園都市の研究者と本県の研究者との交流を拡大し、最先端の研究情報収集や人的ネットワークの構築を進めるため、2 回開催。
つくばでの交流:平成 17 年 7 月 19 日～20 日 つくば国際会議場
富山での交流:平成 17 年 12 月 16 日～17 日 立山国際ホテル

とやま産学官交流会

県内の産学官の交流を促進するため、県内の産学官の経営者、研究者・技術者が一堂に集まり、研究交流会を開催。
平成 17 年 11 月 11 日 富山国際会議場 481 名

第 1 回元気とやまテクノフォーラム

平成 17 年 10 月 7 日 オークスカナルパークホテル富山 134 名 講演「材料分野における技術移転-光触媒を事例として-」

とやま医薬バイオフォーラム

平成 17 年 7 月 12 日 名鉄トヤマホテル 180 名 テーマ「バイオで拓く新産業」

富山バイオ賢人会議

平成 18 年 3 月 22 日 名鉄トヤマホテル 医薬バイオクラスター関係者

とやまベンチャーマッチングフェア

とやまベンチャーマッチングフェアを開催し、ベンチャー企業と投資家等との「出会いの場」を提供。
平成 18 年 3 月 17 日 オークスカナルパークホテル富山 184 名

中小企業支援センター連携促進会議

平成 17 年 6 月 30 日、平成 17 年 11 月 1 日、平成 18 年 3 月 10 日 3回開催

中小企業チャレンジセミナー2005

平成 17 年 9 月 14 日 東京第一ホテル魚津 86 名 テーマ「中小企業新事業活動促進法の概要、新連携事業のポイント」

中小企業パワーアップセミナーin 富山

平成 17 年 10 月 27 日 とやま自遊館 148 名 テーマ「中小企業新事業活動促進法の概要、新連携支援について」

広域商談会

平成 17 年 7 月 12 日:東京 平成 17 年 9 月 7 日:名古屋 商談件数延べ 252 件
平成 17 年 12 月 7 日:トヨタ新技術・新工法展示商談会 出展企業 40 社 商談件数延べ 4, 129 件

県内企業中国商談ミッション派遣等事業

県内企業等で構成する経済交流ミッションを派遣。
平成 18 年 2 月 7 日～12 日 中国・上海市、蘇州市、杭州市 11 企業等 15 名

平成 18 年度

筑波研究学園都市交流事業

つくばでの交流:平成 18 年 7 月 27 日～28 日 つくば国際会議場
富山での交流:平成 18 年 9 月 28 日 富山技術交流ビル 3 階会議室

とやまロボットシンポジウム 2007

平成 19 年 2 月 7 日 名鉄トヤマホテル 134 名 テーマ「ロボットを考える～富山発ロボットの可能性～」

とやま産学官交流会

県内の産学官の交流を促進するため、県内の産学官の経営者、研究者・技術者が一堂に集まり、研究交流会を開催。
平成 18 年 11 月 16 日 富山国際会議場 598 名

第 2 回集まらんまいナインキュ

平成 19 年 2 月 17 日 パレプラン高志会館 43 名

とやまベンチャーマッチングフェア

平成 19 年 2 月 22 日 オークスカナルパークホテル富山 167 名

ものづくり企業サポートセミナーin 富山

平成 18 年 9 月 1 日 とやま自遊館ホール 78 名

中小企業サポートセミナーin 高岡

平成 18 年 12 月 7 日 高岡商工ビル 41 名

広域商談会

平成 18 年 7 月 19 日:東京 平成 18 年 9 月 12 日:名古屋 平成 18 年 12 月 5 日:大阪 商談件数延べ 476 件

県内企業上海ビジネス交流事業

商談ミッションを上海市に派遣し、「第 8 回中国国際工業博覧会」会場において出展企業との商談を行うとともに、現地でのセミナーや政府関係者や上海進出企業との交流会を開催。平成 18 年 11 月 2 日～5 日 中国・上海市 参加者数 11 企業等 20 名

NEAR2006inとやま

平成 18 年 9 月 6 日～7 日 富山産業展示館(テクノホール) 151 企業・団体(うち企業 117) (海外 134、県内・支援機関 17)

平成 19 年度

筑波研究学園都市研究交流事業

筑波研究学園都市の研究者と本県の研究者との交流を拡大し、最先端の研究情報収集や人的ネットワークの構築を進めるため交流事業を開催。
平成 19 年 8 月 23 日～24 日 つくば国際会議場

とやまバイオセミナー2007

平成 19 年 10 月 19 日 名鉄トヤマホテル 156 名 テーマ「バイオ燃料の可能性を考える-バイオ燃料の研究開発の現状と利活用-」

とやまロボットシンポジウム 2008

平成 20 年 1 月 16 日 名鉄トヤマホテル 111 名 テーマ「富山発ロボットの未来～サービスロボットの可能性～」

バイオマス講演会

平成 20 年 3 月 21 日 富山国際会議場 30 名 テーマ「バイオマス資源利活用の現状と将来について」

とやま産学官交流会 2007

平成 19 年 11 月 21 日 富山国際会議場 412 名

とやま医薬バイオフォーラム

平成 19 年 12 月 5 日 オークスカナルパークホテル富山 130 名 講演「ドイツ・イエナのバイオクラスター形成と成功の鍵」

とやま医薬バイオクラスター知財セミナー

平成 19 年 8 月 24 日 富山全日空ホテル 日本貿易振興機構(JETRO)と共同で開催。

海外クラスター連携促進事業

知的クラスター本部(とやま医薬バイオクラスター海外連携調査団)を結成、ドイツ・チューリンゲン州イエナ地域に派遣し知的クラスター事業による第 1 期の研究開発成果の事業展開や分野融合の共同研究等の可能性について調査・交渉を行うとともに、技術ニーズ等の情報収集を実施。

平成 20 年 1 月 21 日～27 日 南日副本部長・事業総括外 5 名
主な調査箇所 イエナバイオサイエンス(有)、サイバイオ(株)、イルメナウ工科大学 外

第 3 回集まらんまいけインキュ

平成 20 年 3 月 8 日 富山大学工学部共通講義棟 26 名

とやまベンチャーマッチングフェア

平成 20 年 2 月 26 日 オークスカナルパークホテル富山 495 名

富山県立地環境説明会事業

都市圏の優良企業を対象に、本県の立地環境の PR や、富山県企業立地促進計画による企業のメリット(設備投資減税や地方税減免)等について広くアピールするため開催。

名古屋 平成 19 年 10 月 30 日 名古屋観光ホテル 88 名
東京 平成 19 年 11 月 20 日 グランドプリンスホテル赤坂 81 名

広域商談会

平成 19 年 7 月 18 日:東京 平成 19 年 10 月 30 日:名古屋 平成 20 年 2 月 14 日:大阪 商談件数延べ 632 件

上海・長江流域ビジネスミッション派遣事業

平成 19 年 11 月 4 日～8 日 中国・上海市、江蘇省無錫市及び湖北省武漢市 参加者数 13 企業等 20 名 商談件数 9 件

平成 20 年度

先端研究拠点交流事業

国内の先端研究拠点を訪問し、最先端の技術情報・研究動向の収集や、研究機関及び企業関係者との人的ネットワークの構築を進めるため交流事業を開催。

・ 講演会 平成 20 年 11 月 27 日 インテックス大阪 5 号館 34 名
・ 国際次世代ロボットフェア視察 平成 20 年 11 月 27 日 インテックス大阪 3 号館 34 名
・ 施設視察 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 平成 20 年 11 月 28 日 33 名

とやまバイオセミナー2008

平成 20 年 10 月 31 日 名鉄トヤマホテル 110 名 テーマ「健康と長寿を支えるバイオテクノロジー～生活習慣病の早期診断と治療～」

日中韓ロボット研究者交流ワークショップ

平成 20 年 9 月 30 日 宇奈月国際会館 300 名 テーマ「アジアの発想とロボティクス」

インキュベーター交流事業「みんな起業家、集まらんまいけ」

平成 21 年 3 月 14 日 富山大学工学部共通講義棟 48 名

とやまベンチャーマッチングフェア

平成 21 年 2 月 24 日 富山国際会議場 268 名

富山県立地環境説明会事業

都市圏の優良企業を対象に、本県の立地環境の PR や、富山県企業立地促進計画による企業のメリット(税制優遇措置)等について広くアピールするため実施。

名古屋 平成 20 年 7 月 2 日 名古屋観光ホテル 149 名
東京 平成 20 年 11 月 18 日 グランドプリンスホテル赤坂 119 名
京都 平成 20 年 11 月 27 日 ホテルグランヴィア京都 56 名

広域商談会

平成 20 年 7 月 18 日:神奈川 平成 20 年 10 月 7 日:名古屋 平成 21 年 2 月 24 日:大阪 商談件数延べ 740 件

NEAR2008inとやま

平成 20 年 10 月 29 日、30 日 富山産業展示館(テクノホール) 出展企業 168 企業・団体(うち企業 144)

平成 21 年度

先端研究拠点交流事業

国内の先端研究拠点(筑波研究学園都市)を訪問し、最先端の技術情報・研究動向の収集や、研究機関及び企業関係者との人的ネットワークの構築を進めるため交流事業を開催。講演会:10 月 15 日 つくば国際会議場 32 名

とやまバイオセミナー2009

平成 21 年 11 月 6 日 名鉄トヤマホテル 142 名 テーマ「身近なバイオテクノロジー・発酵 ～暮らしを豊かにする発酵技術～」

とやま産学官金交流会 2009

平成 21 年 11 月 27 日 富山国際会議場 424 名

第 4 回バイオマス研究会 バイオマス講演会

平成 22 年 1 月 27 日 富山国際会議場 32 名 講演「森林バイオマスのビジネスのヒント」

インキュベーター交流事業「みんな起業家、集まらんまいけ」

平成 22 年 2 月 20 日 富山大学工学部共通講義棟 85 名

とやまベンチャーマッチングフェア

平成 22 年 2 月 24 日 富山国際会議場 202 名

富山県立地環境説明会事業

都市圏の優良企業を対象に、本県の立地環境の PR や、富山県企業立地促進計画による企業のメリット(税制優遇措置)等について広くアピールするため実施。

名古屋 平成 21 年 7 月 27 日 名古屋観光ホテル 135 名
東京 平成 21 年 11 月 30 日 グランドプリンスホテル赤坂 131 名

広域商談会

平成 21 年 5 月 14 日:名古屋 平成 21 年 8 月 25 日:神奈川 平成 21 年 11 月 18 日:大阪
平成 22 年 2 月 17 日:名古屋 商談件数延べ 724 件

中国環渤海地域貿易投資商談ミッション事業

平成 21 年 10 月 26 日 ~ 31 日 中国大連市、天津市、山東省煙台市 参加者数 15 企業等 26 名 商談件数 50 件

平成 22 年度

先端研究拠点交流事業

東海地方の産・学・官との人的ネットワークを構築し、本県の科学技術の振興及び新産業の創出を図るため、名古屋を中心とする航空機産業や研究機関の視察を行うとともに関係者との交流会を開催し、最先端の研究情報の収集や人的ネットワークの構築を推進。

平成 22 年 11 月 24 日 三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所 49 名

とやまバイオセミナー2010

平成 22 年 11 月 19 日 名鉄トヤマホテル 114 名 テーマ「富山ゆかりのバイオテクノロジー～和漢薬と薬膳～」

ロボットシンポジウム

平成 23 年 1 月 28 日 富山国際会議場 149 名 テーマ「福祉系ロボットの現状と将来展望」

とやま産学官金交流会 2010

平成 22 年 12 月 7 日 富山国際会議場 454 名

次世代自動車セミナー

次世代自動車の課題と動向等を学ぶセミナーを開催。 平成 23 年 3 月 10 日 技術交流ビル 2F 研修室 60 名

ものづくり研究開発センターの開所式

平成 23 年 3 月 29 日 出席者 116 名

インキュベータ交流事業「みんな起業家、集まんまいけ」

平成 23 年 1 月 22 日 富山大学工学部共通講義棟 91 名

広域商談会

平成 22 年 6 月 2 日:東京 平成 22 年 9 月 7 日:大阪 平成 22 年 12 月 2 日:名古屋 平成 23 年 2 月 7 日:東京 商談件数延べ 694 件

富山地域製造業海外販路開拓支援事業

県内中小製造業者の海外での販路拡大を促進し、富山県内の一層の産業集積と活性化を図るため、環日本海諸国における見本市への出展支援や商談会を開催。

・ロシア商談会	平成 22 年 11 月 16、18 日	開催都市 ロシア・ウラジオストク市、ハバロフスク市	参加企業数 6 社
・中国(山東)国際装備製造業博覧会への出展	平成 23 年 3 月 16~18 日	開催都市 中国山東省済南市	参加企業数 9 社
・中国西部国際装備製造業博覧会への出展	平成 23 年 3 月 16~19 日	開催都市 中国陝西省西安市	参加企業数 7 社

富山県ものづくり総合見本市 -NEAR2010-

平成 22 年 8 月 5 日 ~ 7 日 富山市体育文化センター 出展企業 171 企業団体(うち企業 163)

輸出促進海外ミッション派遣事業

平成 23 年 2 月 28 日 ~ 3 月 5 日 中国四川省成都市・重慶市・上海市 参加者数 21 企業等 27 名

4 主要事業掲載以外の事業実績 (産学官連携推進センター)

(1) 県(委託・補助)及びTONIO自主事業の実施状況

① 技術開発の予備的研究助成事業(平成14年度～ さきがけ研究開発助成事業)

ア 技術開発の予備的研究助成事業

新技術・新製品開発のための予備実験・研究に要する経費を助成。

イ さきがけ研究開発助成事業

新分野を開拓するためにさきがけて行う幅広い技術・製品開発のための実験や試作・研究に要する経費を助成。

ウ 事業の推移

(単位:件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17
助成件数		2	4	6	0	0
助成金額		3,000	9,930	14,976	0	0

② 産学官共同研究助成事業

ア 大学や公設試験研究機関の技術シーズを実用化するため、県内企業が大学や公設試験研究機関と共同で行う研究開発に要する経費を助成。

イ 事業の推移

(単位:件、千円)

項目	年度	13	14	15	16	17
助成件数		2	2	2	1	1
助成金額		2,000	2,000	658	1,000	500

③ 次世代クラスター形成支援事業

ア 新分野参入につながる事業テーマを調査研究するため、分野別の研究会を産学官の関係者で組織し、新規プロジェクトの創出を目指すため実施。

イ 事業の推移

(単位:回、人、研究会)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
とやまバイオセミナー 開催	開催回数	/	/	1	1	1	1
	参加者数	/	/	156	110	142	114
コーディネータ連絡会議開催回数		6	/	/	/	/	/
分野別研究会設置数		2	2	1	1	1	1

④ 知的クラスター形成促進事業

ア 「とやま医薬バイオクラスター」において進めてきた産学官共同研究の基盤を拡大させ、研究成果を一層発展させるため、富山独自のシーズを持つ分野横断型の研究課題について、産学官連携の共同研究を募集し、研究人材の育成、産学官連携の強化を図るため実施。

イ 事業の推移

(単位:件、千円)

項目	年度	19	20
委託件数		5	3
委託金額		10,000	16,667

⑤ 企業ニーズ対応型産学官共同研究事業

ア 中小企業が日々の生産活動において抱える技術課題について、産学官の共同研究グループが短期間での課題解決にあたる際の研究費を助成。

イ 事業の推移

(単位:件、千円)

項目	年度	17	18	19	20
助成件数		2	3	0	3
助成金額		1,575	2,200	0	1,678

⑥ ロボット技術開発支援事業

ア 今後の成長が期待されるロボット産業分野について、創出と育成を図り、さらに発展していくよう支援。

イ 事業の推移

(単位:回、社、件、千円)

項目	年度	20	21	22
ロボット展等出展	出展回数	/	2	1
	出展企業	/	8	6
日中韓ロボット研究者交流ワークショップ	開催回数	1	/	/
	参加者数	300	/	/
ロボットモデル開発事業研究会開催回数		/	3	/
ロボット応用可能性調査・開発技術調査	委託件数	/	4	/
	委託金額	/	1,550	/

(2) ネットワーク構築事業の実施状況

① とやま産業クラスターネットワーク構築事業

ア 富山県内の意欲ある中堅・中小企業から会員を募り、拠点構成企業と位置づけ、会員相互の情報交換により、ネットワークの構築を図る。

イ 事業の推移

(単位:回、人、社)

項目	年度	19	20	21
クラスター形成研究会 (ハイオム研究会)	開催回数	3	5	3
	参加者数	78	99	47
クラスター形成研究会 (ロボット研究会)	開催回数	3	6	/
	参加者数	53	107	/
マーケティング支援企業数		6	/	/

② とやま産学官ネットワークシステム構築事業(とやま産学官連携推進事業)

ア 産学官のネットワークを構築し、新技術・新商品の創出や産学官連携支援体制の一層の充実を図るため産学官連携プロデューサーやマーケティングマネージャーを平成21年度から配置。

(中小企業支援センター)

(1) 経営の革新・活性化支援の実施状況

① プロジェクトマネージャー等支援人材充実強化事業

ア 中小企業の経営やIT化、金融面での支援を強力に推進するため、経営やIT、金融面に精通した専門相談員を配置し、相談体制の強化・充実を図る。

イ 人材配置の推移

(単位:人)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
中小企業支援センター長										1	1
プロジェクトマネージャー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
マネージャー				1	1	1	1	1	1	1	1
サブマネージャー		4	5	4	4	2	2	2	2	2	2

② 新現役チャレンジ支援事業

ア 新現役人材(大企業等の退職者及び近く退職を控えるシニア人材)が持つ豊富な技術・ノウハウを活用し、経営を支える中核的な人材が不足する中小企業を支援するため、新現役チャレンジ支援富山事務局にナビゲーターを配置し、新現役の発掘と登録を促進するとともに、新現役と中小企業等とのマッチングを行うため実施。

イ 事業の推移

(単位:人、件)

項目	年度	20	21
新現役登録人数		78	97
企業ニーズ件数		107	196
マッチング件数		12	74
支援成立件数		8	57

③ 事業可能性評価委員会運営事業(平成22年度～事業評価支援検討委員会運営事業)

ア 創業予定者または新たな事業計画を有する中小企業を対象に、技術・ノウハウ等に関する事業可能性の評価を行うため実施。

イ 事業の推移

(単位:回、件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
委員会開催回数		11	11	4	4	4	4	4	4	4	4
付議案件件数		29	33	24	20	22	21	21	23	23	20

④ 調査分析事業

ア 中小企業の経営・技術力の向上等に資する情報を提供するため、支援事例等の調査を行うため実施。

イ 事業の推移

(単位:件)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
支援事例集掲載件数		20	10	10	10	10	10	10	10	8	8

⑤ ものづくり産業活性化人材育成支援事業

ア 県内業界団体等と連携し、会員中小企業者等に新技術の普及・定着、生産性の向上、または情報化による経営・販路発掘(開拓)手法を身につけてもらうために実施する研修会・講習会開催費用を助成。

イ 事業の推移

(単位:件、千円)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
助成件数		3	3	3	2	2	2
助成金額		1,165	1,088	1,082	474	570	481

⑥ 中小企業新事業展開支援普及促進事業

ア 新連携の確立や創業革新等に取り組む中小企業者等を対象に、中小企業新事業活動促進法等の普及・啓発を図るためのセミナー等を開催するとともに、支援施策等の情報提供を実施。

イ 事業の推移

(単位:回、人)

項目	年度	17	18
セミナー等開催回数		3	4
参加者数		252	184

⑦ 新産業・雇用創出モデル事業

ア 福祉・介護分野

雇用情勢が大変厳しい中、雇用の量的不足の解消や多様な就業形態の実現を図るため、新成長分野において、特に新しい取り組みとして注目されている「富山型」民間デイサービス・デイケアハウス事業など福祉・介護分野をモデル事業として、地域・生活密着型の活動の事業・起業化を通じて、NPOなど民間(非営利)部門における雇用の創出を図るため実施。

イ コミュニティ・ビジネス分野

地域住民が主体となって、地域の課題の解決を目的に新たな発想と手法により事業化を図る「コミュニティビジネス」をモデル事業として、高齢者や女性などの雇用・就業機会を拡大し、多様な就業スタイルを提供し、地域での雇用・就業機会の創出、個人の力を生かした市民起業家の育成を支援するため実施。

ウ 事業の推移

(単位:回、人)

項目	年度	14	15	16
福祉・介護分野講座	開催回数	6	6	6
	参加者数	57	100	64
コミュニティ・ビジネス分野講座	開催回数		7	5
	参加者数		65	51

⑧ 中小企業支援制度活用促進事業

ア 中小企業の要望に応じて、農商工連携や地域資源活用をはじめとする各種の中小企業支援制度の周知及び制度活用のアドバイスを行うため実施。

イ 事業の推移

(単位:人、件)

項目	年度	21	22
活用促進員配置人数		1	2
企業PR及び相談対応件数		0	88

注 平成21年度は12月から配置し、周知資料作成・周知企業のリストアップを実施

⑨ 中小企業支援施策普及啓発事業

ア 中小企業が抱える課題に的確に応える体制作りを推進するため、中小企業を巡回して県の各種中小企業支援策を紹介し、制度活用へのアドバイス等を実施。

イ 事業の推移 (単位:人、件)

項目	年度	22
施策普及員配置人数		2
訪問件数		324

⑩ 中小企業支援センターIT充実事業

ア 従業員50人未満の県内中小企業のホームページを簡易診断し、問題点や改善するための基礎データを提供することで、中小企業の情報化を支援。

イ 事業の推移 (単位:サイト数)

項目	年度	22
ホームページ簡易診断		20

⑪ 中小企業自立化支援事業

ア 中小企業が自立し存在感のある企業を目指すため、製品の加工技術のレベルアップや販路拡大等競争力をつける事業を助成。

イ 事業の推移 (単位:団体、社、千円)

項目	年度	17	18	19	20	21	22
業界団体が実施する人材育成に対する助成	団体数	4	4	5	3	2	3
	助成額	721	1,327	1,665	1,177	410	735
自立化支援事業	助成数	5	3	1	2	3	0
	助成額	7,833	6,000	2,000	2,500	3,620	0
販路開拓支援事業	助成数	9	5	5	7	12	4
	助成額	2,620	1,500	1,481	1,978	3,520	1,187

⑫ エネルギー使用合理化設備導入促進支援事業

ア 中小企業のエネルギー使用合理化設備の導入を円滑に促進するため、専門家による支援を実施。

イ 事業の推移 (単位:件、社、回、人)

項目	年度	13	14	15
専門家派遣件数		52	51	24
相談指導企業数		216	187	171
啓発普及講習会	開催回数	1	2	
	受講者数	42	49	

⑬ 中小企業環境・安全等対応情報提供事業

ア 中小企業が環境・安全問題に的確かつ円滑に対応できるよう、講習会を通して各種環境規制法規等について情報提供。

イ 事業の推移 (単位:回、人)

項目	年度	13	14	15	16	17
講習会開催回数		3	3	3	3	2
受講者数		122	98	235	168	173

⑭ 共同受注開拓強化促進事業

ア 共同受注グループの育成指導を行うため実施。

イ 事業の推移 (単位:回)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
共同受注情報連絡会議		4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
講演会、講習会等		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1

⑮ 下請企業実態調査事業(下請企業緊急実態調査)

ア 県内下請企業の生産状況等を把握し、取引のあつせんを円滑に推進するため実施し、併せて緊急実態調査を平成21年度から実施。

イ 事業の推移 (単位:回)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
下請企業実態調査		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
下請企業緊急実態調査										8	12

⑯ 下請かけこみ寺事業

ア 中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって対応するため実施。

イ 事業の推移 (単位:件)

項目	年度	20	21	22
相談件数		47	42	38

(2) 起業家の育成・ベンチャー企業等支援の実施状況

① 創業チャレンジ支援事業

ア 起業や新分野進出にチャレンジする県民を支援するため、大都市圏のビジネスプラン発表会等への参加支援、起業セミナー等(若者、女性、熟年)を実施。

イ 事業の推移 (単位:回)

項目	年度	21	22
大都市圏ビジネスプラン発表会支援		2	2
起業セミナー開催		1	1

② 創業・ベンチャー支援アドバイザー設置事業

ア 創業者及び創業間もない起業家への経営指導等アドバイスを行い、県民の起業を支援

イ 事業の推移 (単位:人)

項目	年度	21	22
創業・ベンチャー支援アドバイザー		1	1
事務補助員		1	1

③ 新分野進出事業(平成14年度～ベンチャー起業化スクール開催事業)

ア ベンチャー創業に対する認識、意欲を深めるとともに、従来接点のなかった職種の人的ネットワークの構築を図るためとやまベンチャービジネススクールを開催

イ 事業の推移 (単位:回、人)

項目	年度	13	14	15
開催回数		8	7	6
参加者数		28	24	21

(3) ファンド事業の実施状況

① とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業

ア 地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用した、新商品・新サービス開発等の事業展開の掘り起こしや、事業化・商品化及び販路拡大へ向けた支援(専門家によるアドバイス等)を実施。

イ 事業の推移 (単位:件、社、回)

項目	年度	19	20	21	22
地域資源発掘調査の実施件数		27	18	16	17
専門家による支援先数		6	2	6	4
支援回数		23	5	13	9

② 地域資源活用企業化支援事業

ア 新商品開発等に取り組む中小企業者に対し、市場調査、商品企画、販路開拓、事業性の評価等に係るアドバイス等の徹底した支援を実施。

イ 事業の推移 (単位:回、社、件)

項目	年度	19
地域資源活用説明会開催数		21
専門家派遣先(ブラッシュアップ)		8
相談対応件数		50

③ 農商工連携ブラッシュアップ事業

ア 県内中小企業者と農林漁業者が連携して行う、新商品・新サービス開発等の事業化・商品化及び販路拡大へ向けた支援(専門家によるアドバイス等)を実施。

イ 事業の推移 (単位:社、回)

項目	年度	21	22
専門家による支援先		5	3
支援回数		13	8

④ 農商工等連携支援事業

ア 農商工等連携促進の醸成を図るとともに、とやま新事業創出基金農商工連携ファンドによる助成開始に先行して事業者を支援していくため、中小企業者と農林漁業者が連携し、双方の経営資源を有効活用して新商品・新サービス・販路開拓を行う取り組みを支援。

イ 事業の推移 (単位:件、千円)

項目	年度	20
助成件数		5
助成金額		8,276

(4) 情報化支援の実施状況

ア 企業の情報化に取り組む意欲のある地域の中小企業者に対し、各種セミナー等を開催。

イ 調査事業の実施状況

13	14	15	16
商店街空き店舗調査 まちづくり事例調査	経営革新実態調査	富山県主要店舗調査報告書	富山県内中小製造業・建設業のISO認証取得に関する実態調査

ウ 講習会・研修会・セミナー等の開催 (単位:回、人)

項目	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
人材育成研修事業(ビジネス向ナハコン講座)	開催回数	14	14	18	14						
	受講者数	166	129	203	188						
経営セミナー	開催回数	1	1	1	1						
	参加人数	80	180	126	209						
とやまE製造業実践塾	受講企業数			10	12	11	11	13			
	受講者数			14	12	11	14	21			
情報化講演会・情報化セミナー	開催回数	1				1					
	参加人数	126				87					
オンラインショップ実践講座	コース数					2					
	受講者数					29					
電子商取引開設支援(活用サポート)セミナー	開催回数						1	2	1		
	参加人数						77	125	64		
電子商取引開設支援(活用サポート)講座	コース数						4	2	2		
	受講者数						75	24	34		
ITビジネス活用促進支援セミナー	開催回数									2	1
	参加人数									107	100
ITビジネス活用促進支援・ネットビジネス実践塾	コース数								2	2	3
	受講者数								27	26	39

表紙について

財団法人富山県新世紀産業機構（TONIO）誕生の年（2001年）から毎年発行している「業務案内パンフレット」の歴代表紙を年代順に配置しました。

掲載写真について

北國新聞社（富山新聞 平成13年4月3日朝刊）をはじめ貴重な写真を提供していただいた関係各位に対し厚く御礼を申し上げます。

主要経済指標について

政府統計の総合窓口（総務省統計局）、とやま統計ワールド（富山県統計調査課）の公表資料から引用しています。

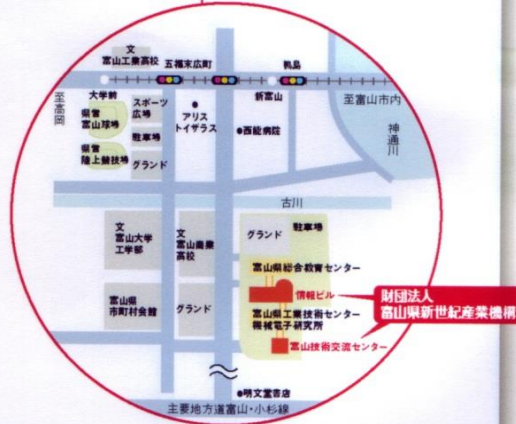
TONIO 10年の歩み

平成23年12月

発行 財団法人富山県新世紀産業機構
〒930-0866 富山県富山市高田 529 番地
TEL 076-444-5600
FAX 076-444-5642
URL <http://www.tonio.or.jp/>

印刷 大東印刷株式会社

ACCESS



交通案内

- ◆JR富山駅前より市電で12分、新富山下車、徒歩10分
- ◆JR富山駅前よりバスで小杉・高岡方面行乗車、新富山にて下車、徒歩10分
- ◆北陸自動車道富山インターより車で約20分
- ◆北陸自動車道富山西インターより車で約15分
- ◆富山空港より車で約15分